

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	全体スライド方式。 可動席方式:全体スライド方式
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	○ △	周囲は閉塞、屋根構造は2層構造とすることで遮音にも配慮している。 4つのフロアに十分なスペースのホスピタリティ機能が整備されるものと思われるが、具体的な提案には乏しい。あくまで非日常施設としての位置づけであり、賑わい創出機能は限定的である。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。 有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討を要する。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の構造及び開閉機構に関すること	× △	架構フレームがなく実現性がない。 小割巻取り式で、空気を入れると伸びて膜を形成。さらには空気を入れてシール性を確保。(ETFEは国内で認定が取れていない。) 可動屋根方式:小割折りたたみ方式 仕上材:不明
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	△ △	主体構造の実現性に課題がある。 屋根材料の大引認定取得に時間要する可能性や、開閉機構とメンテナンス方法の整合性を検討する必要がある。詳細工程の検討が必要である。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	施設建築敷地を超えて提案(都営アパートのデッキ下)
土地利用構成	○	
施設構成	△	面積不足の可能性あり、要調整
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	○	
緑化・環境配慮・防災対策	○	地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	△	階段の表記なし、対応可能

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	○ ○ ○ ○ ○	全体スライド方式 中のスタジアムはオーソドックスなものなので問題ないのでは? なっていない。 なっていない。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [REDACTED] (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。	[REDACTED]	
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED]	○ ○ ○ ○	要項動線図とおり 選手・大会関係者、VIPとの車車分離
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED]	○ ○	
1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	○	周囲は閉塞、屋根構造は2層構造とすることで遮音にも配慮している。
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし。
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし。
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし。
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	○	
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	△	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	○	4つのフロアに十分なスペースのホスピタリティ機能が整備されるものと思われるが、具体的な提案には乏しい。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	×	提案無し
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか	△	あくまで非日常施設としての位置づけであり、賑わい創出機能は限定的である。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多量化及び緑化等) []	△	環境配慮に対する提案が乏しい。有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討を要する。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	太陽光発電(約1,000世帯分)、エアースキン導管への通水による熱負荷低減(→現実的ではない)、ジャンプ発電、自然採光
2)エネルギーの多量化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	記載なし
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	記載なし
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討を要する。
5)有効な緑化計画がされているか。	△	記載なし
	△	記載なし

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方	×	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	×	架構フレームがなく実現性がない。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	×	ふくらみと巻き取りに実現性がない
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	×	南側日射を配慮した計画ではあるが通風が不足しているため芝の管理の負担が大きい。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	不明	開閉屋根機構の詳細がないため判断できない。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方	△	
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	△	小割 → 巻取り → フラット → ふくらむ 構造的に検討が必要。
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。		十分な検討が必要。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		十分な検討が必要。
		詳細不明。実現性があるのか十分な検討が必要。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)	△	主体構造の実現性に課題がある。
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	○	開閉機構がユニット毎のため、メンテナンス費用が掛かる懸念があり、課題がある。
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	○	
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	○	外装の素材選定によっては、コスト超過の課題がある。
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	△	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)	△	屋根材料の大臣認定取得に時間を要する可能性や、開閉機構とメンテナンス方法の整合性を検討する必要がある。詳細工程の検討が必要である。
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	△	工事期間の提案はあるが、詳細工程の検討が必要である。(解体着手が1年遅い=建設工期が短い)
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっているいか。(ヤードの確保は難しい)	○	問題は見当たらない。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	△	屋根の先行施工の提案はあるが、詳細の工程検討は必要である。
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	△	①屋根材料(ETFT)の大臣認定取得が必要となる可能性が高い。 ②可動屋根の開閉機構とメンテナンス(通路)の考え方の整合を検討する必要がある。 ③アリーナ床の昇降をバトラストンクで行っているが、実現性については検討が必要である。
5)品質に支障をきたす要素がないか。	△	可動屋根の開閉機構の検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) []	△ △ ○ △	施設建築敷地を超えて提案(都営住宅のデッキ下を利用) 外苑西通り側で壁面後退なし
土地利用構成 []	○ ○ ○	要項の規定に適合している。ただし、関連敷地に整備するデッキ下を駐車場として利用している。 建築物の提案はないが、都営住宅跡地に整備するデッキ下部を駐車場として利用している。
施設構成 []	△ △ △ ○	面積不足の可能性あり 面積不足の可能性あり。要調整。 ゾーニングが不明瞭。
スタジアムへのアクセス []	○ ○ ○ △	要項動線図とおり VIP、スタッフを外苑西通り側からアクセス、一般車駐車場は区道43-690より南北に地表レベルでアクセス 計画提案書に矢印の表示はあるが、空間図の表示がない
公園面積、公開空地の割合 []	○ ○ ○ ○ ○	範囲・面積が明示されており、両区とも確保可能範囲に確保されている。凡例表記に誤りがある。 渋谷区分は、都道418号上空デッキと敷地内での確保である。新宿区分は、関連敷地を中心とした確保である。 範囲・面積・空地率の記載がある。 人工地盤面で確保する計画であり、確保可能範囲内に確保されている。
歩行者等と車両の快適な見合せの確保がなされているか []		
緑化・環境配慮・防災対策 []	○ ○ △	地域防災対策が必要 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 []	△ △ ○ ○	階段の表記なし、対応可能 階段の表記なし、対応可能

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1.「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	ロールバック方式。 可動席方式:ロールバック方式
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	△	駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△ △	記載なし 80室程度のVIP関連諸室が確保されており、スペースとしては十分である。南側に商業機能等が集中的に配置されており、賑わい創出が期待される
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。 <芝生>芝生のための通風、芝生の張り替え(外部で再生後、再使用)提案あり
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	○ △	部材断面を大きくするなど十分な検討が必要である。 2層、上層は巻取り方式、下層はスライド。2重構造にして遮音性を確保。 開閉屋根機構の十分な検討が必要である。 可動屋根方式:巻き取り方式、スライド方式 仕上材:膜
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 施工性や工期に関すること	△ ○	屋上躯体上に綠化が計画されているため、実現性、及び防水対策などの維持管理に課題がある。 開閉屋根機構の実現性に課題がある。 全体的には実現可能と思われる。
2.「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	壁面後退距離が一部不足
土地利用構成	△	参考提案としてホテル利用
施設構成	○	盛り土傾斜:約46°(西側)
スタジアムへのアクセス	△	駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整
公園面積、公開空地の割合	△	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要(盛り土の斜面が急勾配であることに留意が必要)
緑化・環境配慮・防災対策	○	
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) ■■■	○ ○ ○ ○ ○	ロールバック方式。 なっていない。 なっていない。 内部はオーソドックス。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) ■■■ (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 ■■■ 1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	△ △ ○ △	駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整 東京体育館と部分デッキ接続。主は現在の道路空間利用のままであり、駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整。 記載なし
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 ■■■ 1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。	○ ○	スタジアム外周のコンコースとして確保。盛土内空間のため拡張余地がなく、要調整。

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	△ △ △ △ △ △ △	記載なし 記載なし 記載なし 記載なし 記載なし 記載なし
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	△ ○ △ ○	80室程度のVIP関連諸室が確保されており、スペースとしては十分である コンサートに関する記載程度であり、具体的提案に乏しい。 南側に商業機能等が集中的に配置されており、賑わい創出が期待される
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	△ ○ △ △ △ △ △	環境配慮に対する提案が乏しい。 地中熱利用、雨水再利用、自然換気、熱融通の重要さについてコメント、オフピーク時に余剰電力を周辺施設に供給、とあるがCGSや地域冷暖房についての記載なし 記載なし 記載なし 記載なし 記載なし 芝生のための通風、芝生の張り替え(外部で再生後、再使用)提案あり

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方 [REDACTED]	○	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	○	架構システムとしては成立する。部材断面を大きくするなど十分な検討が必要である。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	×	開閉屋根の詳細がない。収納が困難と思われる。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保した開閉機構を有する屋根架構となっているか。	×	南側の日射を確保した屋根架構とはなっていない。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	不明	開閉屋根機構の詳細がないため判断できない。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方 [REDACTED]	△	
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	△	2層の可動式上層巻取り、下層スライド。2層構造はむしろSound insulation(遮音)のため。
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。		要さない。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		なっていない。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費) [REDACTED]	△	屋上躯体上に緑化が計画されているため、実現性、及び防水対策などの維持管理に課題がある。 開閉屋根機構の実現性に課題がある。
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	○	
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	○	
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	○	
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	△	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期) [REDACTED]	○	全体的には実現可能と思われる。
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	△	工事期間の提案がなく、詳細工程の検討が必要である。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	○	問題は見当たらない。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	△	提案なし
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	○	特に見当たらない。
5)品質に支障をきたす要素がないか。	△	屋上の利用への架構の作り方に検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2):「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) []	△ ○ ○ △	外苑西通り側で壁面後退なし
土地利用構成 []	△ △ △	参考提案としてホテル利用 都営住宅跡地にホテルを参考提案している。同提案を取り下げた場合に、都営住宅敷地において規定の範囲内の土地利用がなされることが読み取れない。都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することを検討する。 都営住宅跡地にホテルを参考提案している。参考提案であるため、これをもって直ちに要項に抵触していると判断すべきではないと考える。
施設構成 []	○ ○ ○ ○	
スタジアムへのアクセス []	△ △ ○ ○	駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整 東京体育館と部分デッキ接続。主は現在の道路空間利用のままであり、駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整。 プレイヤー用出入口を区道43-670側に用意(徒歩)
公園面積、公開空地の割合 []	△ × △ × △	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要。 範囲・面積の記載がない。 スタジアムを埋設する計画のため、道路上空デッキも関連敷地の活用もないが、両区ともスタジアム敷地内で確保できる可能性が高い。 範囲・面積・空地率の記載がない。 スタジアムを埋設する計画のため、公園範囲の設定後、建物上部・屋上を活用して確保可能範囲内に確保できる可能性が高い。
歩行者動線による良好な立地を設けられているか。 []		
緑化・環境配慮・防災対策 []	○ ○ ○	
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 []	○ ○ ○ ○	避難場所(行く先)について、検討を要す 避難場所(行く先)について、検討を要す

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	折りたたみ方式。 可動席方式:折りたたみ方式
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△ △	側壁下層部を閉塞すべき 十分なひろさのホスピタリティ関連施設が計画されているが、収益性の観点には乏しい。上下式の芝生で上からカバーで覆われるような機構であり、他のイベントの開催が期待される。南北にスペースが分割されており、賑わい創出の一体感にかける。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。 有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討を要する。 <芝生>自然換気による通風の確保
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	○ ○	部材断面、トラスせいを剛強にする必要がある。 短辺スライド方式。 可動屋根方式:短辺スライド方式 仕上材:不明
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 施工性や工期に関すること	○ ○	全体的には実現可能と思われる。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○	
土地利用構成	△	都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することの検討が必要
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	△	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要
緑化・環境配慮・防災対策	○	
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	○	
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。	○	折りたたみ方式。内部はオーソドックス。
2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど)	○	
3)可動席を利用してない時の雰囲気に支障はないか。	○	
4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。		なっていない。
5) 可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		なっていない。 フィールドは昇降し、脇に収納。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [REDACTED]	[REDACTED]	
(例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す		
①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED]	○	
1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。	○	
2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。	○	
3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	○	メガイベント会場が連続的に展開する広域的なアーバングリーンベルト形成を提案
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED]	○	
1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。	○	

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	△	側壁下層部を閉塞すべき
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	上部棧敷席で吸音との記述があるが技術的には疑問
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	△	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	十分な広さのホスピタリティ関連施設が計画されているが、収益性の観点には乏しい。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	△	上下式の芝生で上からカバーで覆われるような構造であり、他のイベントの開催が期待される。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか	△	南北にスペースが分割されており、賑わい創出の一一体感にかける。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	△	環境配慮に対する提案が乏しい。有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討を要する。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	太陽光発電(42,000m ² ・約600世帯分)、自然換気、自然採光、雨水再利用、ドライミスト、呼吸する外壁(光、空気は透過、音はシャットアウト)
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	記載なし
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	記載なし
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討を要する。
5)有効な緑化計画がされているか。	△	記載なし
	△	自然換気による通風の確保

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方 []		
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	○	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	○	部材断面、トラスせいを剛強にして、全体的に改良する必要はあるが、可能性はある。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	○	開閉機構のディテールの検討は必要であるが、実現性はある。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	○	南側を全面的にあける計画である。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方 []		
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	○	
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。	○	短辺スライド方式、南側に向けて大開放。センター部開放の2段階。 要さない。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		なっていない。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費) []		
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	○	
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	○	
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	○	
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	○	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期) []		
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	○	全体的には実現可能と思われる。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	○	実現性はある。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	○	問題は見当たらぬ。
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	△	提案なし
5)品質に支障をきたす要素がないか。	○	特に見当たらぬ。
	△	PVパネルの色(緑)と発電効率の整合性が図れているか検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ)■■■	○ ○ ○ ○	
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成■■■	△ × ○	都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することを検討する。 都営住宅が存置されており、都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することを検討する 要項に抵触するような提案はない。
施設構成■■■	○ ○ ○ ○	
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		
スタジアムへのアクセス■■■	○ ○ ○ △	要項と同じ動線で図示 南西側からの観客アクセスは想定されているが、競技者動線として使えるか図面上では不明
公園面積、公開空地の割合■■■	△ × △ × △	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要。 範囲・面積の記載がない。 渋谷区分は、スタジアムの配置、都道418号上空デッキの形状より、確保できる可能性がある。新宿区分の確保のため、関連敷地を公園とすることを検討する必要がある。 範囲・面積・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周りも含めて確保すると考えても40%を確保できない可能性がある。
歩行者等にとって快適で良好な位置に設けられているか■■■		
緑化・環境配慮・防災対策■■■	○ ○ ○	
・緑化・環境に対して、特別な提案がなされているか。 ・防災対策に対して、特別な提案がなされているか。		
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等■■■	○ ○ ○	問題なし
・災害発生時等緊急時にに対応した避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	△	無し。側面のイメージはダイナミック。 可動席方式:無
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	△	駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	記載なし △	2フロアにわたってホスピタリティ関連機能が配置されており、広さは十分である。南側に集中的に商業機能等が配置されており、賑わいの創出が期待される。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。 <芝生>膜構造による光の透過と散水について記載あり
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	○ △	部材の増強など十分な検討の必要がある。 3分割された円形屋根が3方向にスライドする。可動距離が長く、なおかつ曲線やコスト、メンテ性に不安。(ETFEは国内で認定が取れていない。) 開閉屋根の鉛直剛性に問題があり再考の必要がある。 可動屋根方式:3方向スライド方式
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 施工性や工期に関すること	○ ○	屋根材料の大蔵認定取得に時間を見る可能性がある。全体的には実現可能と思われる。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○	
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	△	駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整
公園面積、公開空地の割合	△	区別の内訳面積の記載がない
緑化・環境配慮・防災対策	○	地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	△	無。
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用していない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		シェル構造の側壁でイメージはダイナミック。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [REDACTED] (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面)あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。	[REDACTED]	
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED]	△ × ○ △	駅に向かう歩行車動線について混雑対策を要調整 地表アクセスで、デッキ接続なし。現在の道路空間利用のままであり、駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整。 記載なし
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED]	○ ○	
1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	○	
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	○	
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし。
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	○	天井吸音による遮音対策が提案されているが技術的に検証が必要。
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	△	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	○	2階アリーナにわたってホスピタリティ関連機能が配置されており、広さは十分である。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	△	コンサートの提案程度であり、具体性に乏しい。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的展開イメージについて記載があるか	○	南側に集中的に商業機能等が配置されており、賑わいの創出が期待される。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	雨水再利用、クールチューブ、自然換気、太陽光発電、地中熱利用、ドライミスト、蓄熱、リサイクル建材の利用
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	記載なし
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	記載なし
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	記載なし
5)有効な緑化計画がされているか。	○	ランドスケープ、水景、緑のインフラ、打ち水・保水タイルによるクールシティ化
	△	膜構造による光の透過と散水について記載あり

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方 [■■■]	△ ○ △ ×	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。 支持点の詳細がないが全体的に成立している架構システムである。部材の増強など十分な検討の必要がある。 3本のレールで自走する駆動台車の制御が難しい。閉時の開閉屋根の剛性に問題があり再考の必要がある。 南側の日射の確保は配慮されていない。 レールのメンテに費用がかかると思われる。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方 [■■■]	△ ○ △	分割されたΦ115m円形屋根が3方向にスライドする なっていない。可動距離が長く、曲線。 開いた屋根が広場の屋根になる。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費) [■■■]	○ ○ △ ○ ○ ○	レール本数が多くメンテナンス費用が掛かる懸念がある。 詳細不明
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期) [■■■]	○ ○ ○ △ △ ○	屋根材料の大蔵認定取得に時間を要する可能性がある。全体的には実現可能と思われる。 実現性はある。 問題は見当たらない。 提案なし 屋根材料(ETFT)の大蔵認定取得が必要となる可能性が高い。 提案の内容には、特に見当たらない。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ)■■■	○ ○ ○ ○	
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成■■■	○ ○ ○	要項の規定に適合している。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成■■■	○ ○ ○ ○	
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		
スタジアムへのアクセス■■■	△ × ○ △	駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整。 地表アクセスで、デッキ接続なし。現在の道路空間利用のままであり、駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整。 計画提案書では外苑側に動線を設定しているが図面上で判読不可能
公園面積、公開空地の割合■■■	△ × △ × △	区別内訳面積の記載がない 公園のトータル面積の記載はあるが、区別の内訳および範囲の記載がない。 渋谷区分は、スタジアムの配置、都道418号上空デッキの形状より、確保できない可能性がある。新宿区分は、関連敷地も含めれば確保できる可能性がある。 公開空地面積の記載はあるが、範囲・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周りも含めて確保すると考えると40%を確保できる可能性がある。
歩行者等にとって快適で良好な位置に設計されているか■■■		
緑化・環境配慮・防災対策■■■	○ ○ △	地域防災対策が必要 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等■■■	○ ○ ○ ○	問題なし
・災害発生時等緊急時に対応した避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	ロールバック方式。十一部昇降。 可動席方式:ロールバック方式十一部昇
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	○ △	外壁はダブルスキン(一部ガラス)なので遮音量を稼ぐことができ、音響的にも有利。 ホスピタリティ機能を「公共空間」として捉えており、収益性の観点に欠ける。開放的な立体公園、催事開催スペース、南側に集中配置された商業機能等、賑わいを生み出す機能が散りばめられている。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	○	環境技術に対して十分提案されている。エネルギー多重化の提案がある。 LCCについて提案がある。大空間の空調に配慮した計画となっている。 <芝生>膜構造による光の透過、散水、通風についての記載あり
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ ○	屋根架構の鉛直剛性に問題があり、部材断面の増強、斜材追加などの十分な検討が必要である。 小割巻取り方式。グリッドシェル構造の屋根があり、5m×5mの単位で動屋根方式:小割巻き取り方式 仕上材:ガラス・膜 ロールスクリーンが開閉。
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	○ △	可動屋根の維持管理について、ロールスクリーンのため点検箇所が多いこと、不具合補修や個別コンピューター制御に係る負担が懸念される。 可動屋根の開閉機構とメンテナンス(通路)の考え方の整合を検討する必要がある。 工期51ヶ月で提案
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○	
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	△	範囲の記載がない
緑化・環境配慮・防災対策	○	
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	○ ○ ○ ○ ○	ロールバック方式。一部昇降。 なっていない。 なっていない。 わかりやすく示されている。
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用していない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [REDACTED]	[REDACTED]	
(例:ピッヂの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す -①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED]	○ ○ ○	要項と同じ動線をアレンジして図示(千駄ヶ谷駅は東京体育館及び414号線上デッキで直接エントランスレベルへアクセス) 短時間でスタンドから退場できる公園配置
1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。		
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED]	○ ○	
1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境)■■■	○	外壁はダブルスキン(一部ガラス)なので遮音量を稼ぐことができ、音響的にも有利。
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画)■■■	△	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	ホスピタリティ機能を「公共空間」として捉えており、収益性の観点に欠ける。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	△	コンサート程度であり具体的な提案に欠ける。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか	○	開放的な立体公園、催事開催スペース、南側に集中配置された商業機能等、賑わいを生み出す機能が散りばめられている。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等)■■■	○	環境技術に対して十分提案されている。エネルギー多重化の提案がある。LCCについて提案がある。大空間の空調に配慮した計画となっている。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	自然採光、自然換気、CGS、太陽光発電(蓄電池付)、雨水再利用、クールチューブ、氷蓄熱、座席空調、アースシェルタリングによる熱負荷低減
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	○	太陽光発電(蓄電池付)、CGSによる電源確保
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	○	年間光熱水費30.8%削減
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	○	居住域空調
5)有効な緑化計画がされているか。	△	立体公園 膜構造による光の透過、散水、通風についての記載あり

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方	△	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	△	架構システムは成立する。屋根の鉛直剛性に問題があり、梁せい3600では小さいことやレイヤー間に斜材の追加など十分な検討の必要がある。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	△	開閉屋根の材料であるロールスクリーンの閉時の風荷重に対する安全性確保に課題がある。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	△	若干、南側の日射を確保をした開閉機構となっており、透過性、日射面積の確保の検討が必要である。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	×	個別制御の開閉ロールスクリーンのため点検箇所が多いことや故障時の対応費用が多くかかると思われる。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方	○	
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	○	小割巻取り方式、グリッドシェルの屋根があり、5m×5m単位でロールスクリーンが開閉。
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。		要さない。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		なっていない。
		完全オープンとはならないが、開閉量を制御できる。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)	○	可動屋根の維持管理について、ロールスクリーンのため点検箇所が多いこと、不具合補修や個別コンピューター制御に係る負担が懸念される。
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	△	開閉機構がユニット毎のため、メンテナンス費用が掛かる懸念があり、課題がある。
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	○	
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	○	
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	○	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)	△	可動屋根の開閉機構とメンテナンス(通路)の考え方の整合を検討する必要がある。
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	△	地下工事(-10m程度)が深い事から、提案の掘り下げた計画であれば、工期内での完成が厳しいと思われる。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	△	掘削土の搬出用構台などの計画が必要である。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	△	提案なし。工期5ヶ月で提案
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	△	可動屋根の開閉機構とメンテナンス(通路)の考え方の整合を検討する必要がある。
5)品質に支障をきたす要素がないか。	○	提案の内容には、特には見当たらない。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) []	○ ○ ○ ○	
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成 []	○ ○ ○	要項の規定に適合している。ただし、区道43-690上空デッキの上に構造物(オープンスペース関連)の一部がかかっている。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成 []	○ ○ ○ ○	
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		
スタジアムへのアクセス []	○ ○ ○ ○	要項と同じ動線をアレンジして図示(千駄ヶ谷駅は東京体育馆及び414号線上デッキで直接エントランスレベルへアクセス) VIP、メディア、競技者アクセスを、各々外苑西通り側に設置、維持管理は南側からアクセス、競技者は北側にもアクセス設置 トンネルによるアクセスを提案
公園面積、公開空地の割合 []	△ × △ × △	範囲の記載がない 面積の記載はあるが、範囲の記載がない。また英語版パネルには面積の記載もない。 渋谷区分は、スタジアムを埋設する計画のため、敷地内と都道418号上空デッキで確保できる可能性が高い。新宿区分は、関連敷地を中心に確保できる可能性が高い。 公開空地面積の記載はあるが、範囲・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周りも含めて確保すると考えると40%を確保できる可能性がある。
歩行者等による快速で良好な立場に確保されているか []		
緑化・環境配慮・防災対策 []	○ ○ ○	蓄電
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 []	○ ○ ○	問題なし
・災害発生時等緊急時に対応した避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1.「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	ロールバック方式+全体スライド。 可動席方式:ロールバック方式+全体スライド
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	○ △	要検討項目の整理はされているようだが具体的提案はないので注意が必要。 専用入り口を有しており、十分な広さのホスピタリティ機能を有している。ただし、スポーツ以外についてでは、コンサート等の記載はあるが、特徴的な提案は見当たらない。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び緑化等) 省エネ技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。 <芝生>ヒーティング、通風、水はけ
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ △	屋根支持架構の断面増強、部材の組み方などの十分な検討の必要がある。 バルーンルーフ。係留可能か、シール性の確認が必要。 バルーン屋根は実現性に欠ける。 可動屋根方式:バルーンルーフ 仕上材:3層膜
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	△ △	総工事費が計画額を超過する懸念がある。主体構造の実現性に課題がある。 可動屋根の架構形式如何では設計期間及び工事期間に時間要する可能性や、屋根材料の大認定取得に時間を要する可能性がある。
2.「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	屋根開放時に規定の高さを超えてる
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	○	
緑化・環境配慮・防災対策	○	地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) []	○ ○ ○ ○ ○	ロールバック方式+全体スライド。詳細説明はないが、スタジアム全体はオーソドックス。 なっていない。 なっていない。
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用していない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5) 可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [] (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。	[]	
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 []	○ ○ ○ ○	選手・大会関係者・VIPを車両分離
1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。		
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 []	○ ○	
1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	○	要検討項目の整理はされているようだが具体的提案はないので注意が必要。
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	○	要検討項目の列挙のみ
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	○	要検討項目の列挙のみ
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	○	要検討項目の列挙のみ
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	○	要検討項目の列挙のみ
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	△	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	○	専用入り口を有しており、十分な広さのホスピタリティ機能を有している。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	△	コンサート等の記載はあるが、特徴的な提案は見当たらない。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか	△	スタジアム南側に商業機能等をある程度のスペース配置されている。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	LED照明、自然採光、ダブルスキン、自然換気、雨水再利用、太陽熱給湯、太陽光発電
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	記載なし
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	BMSの導入
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	記載なし
5)有効な緑化計画がされているか。	△	記載なし
	△	ヒーティング、通風、水はけについて記載あり

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方		
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	×	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	△	架構システムの再検討の必要がある。屋根支持架構の断面増強、部材の組み方などの十分な検討の必要がある。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	×	バルーン形式となっており、実現性はないと思われる。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	△	日射面積は若干不十分と思われる。
	不明	開閉屋根の実現性がないため判断できない。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方		
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	△	
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。	△	バルーンループ。190×115m。係留可能か、シール性の確認が必要。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		要さない。 なっていない。 構造成立性の検討を要する。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)		
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	△	総工事費が計画額を超過する懸念がある。主体構造の実現性に課題がある。
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	△	可動屋根の可動機構の詳細提案が無いため、実現性に課題がある。
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	○	
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	△	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)		
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	△	可動屋根の架構形式如何では設計期間及び工事期間に時間を要する可能性や、屋根材料の大蔵認定取得に時間を要する可能性がある。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	△	工事期間の提案はあるが、詳細工程の検討が必要である。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	△	店舗等が計画されており、工事時期を検討しておく必要がある。
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	△	提案なし
5)品質に支障をきたす要素がないか。	△	屋根材料の大蔵認定取得が必要となる可能性が高い。
	△	可動屋根の開閉機構の検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2):「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) [■]	△ ○ × ○	屋根開放時に高さ制限を超えている(約80m程度)
土地利用構成 [■] ・規定の範囲内の土地利用がされているか。 ・関連敷地に新たに建築建築物(人工地盤等の工作物を除く)を建築していないか。	○ ○ ○	要項の規定に適合している。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成 [■] ・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。	○ ○ △ ○	ゾーニングが不明瞭。
スタジアムへのアクセス [■] ・駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 ・車両のメインアクセスは都道418号(外苑西通り)側に設置されているか。 ・サブトラック、投げ練習場からの移動を考慮した競技者動線が提案されているか。	○ ○ ○ ○	メディア・搬出入の出入口、VIP出入口を、各々外苑西通り側に設置、一般車駐車場は外苑西通り側、東側2ヶ所に分散して設置 計画提案書で外苑側に動線を設定、LEVEL0に通路表示(パネル図面より読み取り)
公園面積、公開空地の割合 [■] ・既設公園と同規模以上の面積を各区の範囲内に確保しているか。 (渋谷区:約22,000m ² 、新宿区:約12,000m ²) ・「公園の再配置が可能な範囲」内に公園が配置されているか。 ・敷地面積の40%以上の公園空地が確保されているか。 ・「公園空地の確保が可能な範囲」内に公園空地が配置されているか。	○ ○ ○ ○ ○	範囲・面積の記載があり、確保可能範囲内に計画されている。 渋谷区分は、一部、建物屋根の下部を含んでおり、当該箇所を公園と見なせない可能性がある。新宿区分は、一部、連續性のない帯状部分が含まれており、当該箇所を公園と見なせない可能性がある。 範囲・面積・空地率の記載がある。ただし、範囲は把握しづらい。 デッキレベルを中心に、デッキ下、屋上など多層で確保する計画であり、確保可能範囲内にある。
歩行者等にとって快適で良好な位置に設けられているか [■]		
緑化・環境配慮・防災対策 [■] ・緑化・環境に対して、特別な提案がなされているか。 ・防災対策に対して、特別な提案がなされているか。	○ ○ △	地域防災対策が必要 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 [■] ・災害発生時等緊急時に応じた避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。	○ ○ ○	問題なし

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	折りたたみ方式。 可動席方式:折りたたみ方式
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	○ △	センター・フィールドがせり上がる構造なので実現できれば遮音性能は十分確保できる。 VIP関連諸室に加えてシャワー・バスルーム等の提案があるが、その分収益スペースが少ない。コンサート、オペラ等各種開催に加え、天井つり型の大型映像機器を備えるなど、スポーツ以外の使用に十分配慮しているものである。ただし、北側と南側に商業機能が分割配置されており、賑わい創出機能に欠ける
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び緑化等) 関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	○ ○	ケーブルの長いサスペンション構造の高度な技術で実現できる。ケーブルの外周構造を剛強にするために、部材断面増強、フレーム数の増加などの十分な検討が必要である。 スタジアム屋根は可動ガラス窓と常設テフロン膜で構成。 キャットウォーク部から支持されるので実現性は高いと思う。 膜の取付に問題があり十分な検討の必要がある。 可動屋根方式:ケーブル方式 仕上材:ガラス・PVバネル
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 施工性や工期に関すること	○ △	可動屋根の維持管理について、不具合補修や個別コンピューター制御に係る負担が懸念される。 可動屋根の架構形式如何では設計期間及び工事期間に時間を要する可能性や、屋根材料の大卒認定取得に時間を要する可能性がある。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	壁面後退距離が一部不足
土地利用構成	△	区道43-690号の道路としての機能喪失 (道路西端交差点に面し駐車場出入口を設置。道路は自動車通行不可)
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	○	
緑化・環境配慮・防災対策	○	地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	○ ○ ○ ○ ○	折りたたみ方式。 なっていない。 なっていない。 スタジアムはオーソドックス。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな構造の提案) (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。	[REDACTED]	
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED]	○ ○ ○ ○	
		サブトラックと接続する地下道
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED]	○ ○	
		1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	○ △ △ △ △ △	センターフィールドがせり上がる構造なので実現できれば遮音性能は十分確保できる。 記載なし 記載なし 記載なし 記載なし
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。ある場合、実現性のある内容となっているか。		
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。ある場合、実現性のある内容となっているか。		
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。		
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。		
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	△ △ ○ △	VIP関連諸室に加えてシャワー・バスルーム等の提案があるが、その分収益スペースが少ない。 コンサート、オペラ等各種開催に加え、天井つり型の大型映像機器を備えるなど、スポーツ以外の使用に十分配慮しているものである。 北側と南側に商業機能が分割配置されており、脇わい創出機能に欠ける
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。		
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。		
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか。		
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	△ ○ △ △ △ ○ △	環境配慮に対する提案が乏しい。 太陽光発電(12,000m ²)、自然換気、雨水再利用、地中熱利用、蓄熱(夜間電力利用)、クールピット 記載なし 記載なし 記載なし 人工地盤、壁面緑化 記載なし
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。		
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか		
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか		
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)		
5)有効な緑化計画がされているか。		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方		
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	△	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	○	300m近いテンション材で構造システムを成立させるには、応力、変位に問題が残るが(クリープ、温度)サスペンション構造の高度な技術で実現できる。ケーブルの外周構造を剛強にするために、部材断面増強、フレーム数の増加などの十分な検討が必要である。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	△	開閉屋根の取付に問題があり再考の必要がある。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	×	日射面積は確保されていない。
	不明	開閉屋根の実現性がないため判断できない。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方		
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	○	
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。	○	サッシ+ケーブル155×105mを小割長方式。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		要さない。 なっていない。 テフロン膜常設屋根ユニット。ガラス窓部開く。可能と思う。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)		
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	○	可動屋根の維持管理について、不具合補修や個別コンピューター制御に係る負担が懸念される。
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	△	開閉機構がユニット毎のため、メンテナンス費用が掛かる懸念があり、課題がある。
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	○	
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	○	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)		
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	△	可動屋根の架構形式如何では設計期間及び工事期間に時間を要する可能性や、屋根材料の大蔵認定取得に時間を要する可能性がある。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	△	工事期間の提案はあるが、詳細工程の検討が必要である。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	△	店舗等が計画されており、工事時期を検討しておく必要がある。
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	△	提案なし
5)品質に支障をきたす要素がないか。	△	屋根材料の大蔵認定取得が必要となる可能性が高い。
	△	可動屋根の開閉機構の検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) []	△ ○ ○ △	区道43-670側で一部後退距離が不足
土地利用構成 []	△ × ○	区道43-690号の機能喪失 土地利用の面では要項の規定に適合しているが、区道43-690号の道路としての機能が失われている。 要項に抵触するような提案はない。 (道路西端交差点に面し駐車場出入口を設置。道路は自動車通行不可)
施設構成 []	○ ○ △ ○	ゾーニングが不明瞭。
スタジアムへのアクセス []	○ ○ ○ ○	外苑西通り側に2ヶ所の関係者用出入口を設置、一般車駐車場は北側の都道414号、南側の区道43-690からアクセス トンネルによるアクセスを提案
公園面積、公開空地の割合 []	○ ○ ○ △ ○	範囲・面積の記載があり、確保可能範囲内に計画されている。 渋谷区分は、地上と人工地盤の2層とされており、公園と見なせない部分を含む可能性がある。新宿区分は、関連敷地が中心だが、敷地内に2層の部分を含んでいる。 範囲・面積の記載があるが、空地率の記載はない。必要面積は確保されている。 確保可能範囲内の地盤面と人工地盤で確保する計画である。
歩行者等にとって快適で良好な位置に設けられているか []		
緑化・環境配慮・防災対策 []	○ ○ △	記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 []	○ ○ ○	問題なし

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	ロールバック方式。 可動席方式:ロールバック方式
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	○ ○	具体的な数量の言及はないが、十分な広さのホスピタリティ関連機能のスペースを確保している。フィールド転換システムを有しており、スポーツ以外のイベントの開催に適している。また、天井もイベントに活用可能である。南側に集中した商業機能等の配置に加え、周辺施設との相乗効果でにぎわい創出が期待される。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び緑化等) 省エネルギー技術等に関すること	○	環境技術に対して十分提案されている。エネルギー多重化の提案がある。大空間の空調に配慮した計画となっている。 <芝生>天然芝をイベント床へ転換するフィールド転換システム。膜構造による光、通風の確保。人工照明。 芝生の育成について提案がある。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ △	外周方向の効果を活用できていないため、架構システムの強化など十分な検討が必要である。 長辺スライド方式。オーソドックス。 (ETFEは国内で認定が取れていない。) 可動屋根方式:長辺スライド方式 仕上材:ETFE
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	△ ○	構造の機構、外装の素材によっては、コスト超過の課題がある。 屋根材料の大蔵認定取得に時間をする可能性がある。全体的には実現可能と思われる。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	可動屋根が開放時に関連敷地(都営住宅)まで移動
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	○	
緑化・環境配慮・防災対策	○	
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	△	階段の表記なし。スタンド内通路も不足しているが、対応可能と思われる。

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) []		
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。	○	
2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど)	○	ロールバック方式。
3)可動席を利用していない時の雰囲気に支障はないか。	○	
4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。	○	なっていない。
5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。	○	なっていない。
		問題なし。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) []		
(例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す		
・①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 []		
1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。	○	
2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。	○	
3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	○	
	○	南西側に1/23の緩い勾配のマラソンルート
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 []		
1)スタジアムの外に入だまり空間が提案されているか。	○	
	○	

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	○ ○ △ 記載なし ○ △ 記載なし	
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	○	
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	○	
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△ 記載なし	
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	○ △ 記載なし	
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	○ ○ ○ ○	具体的な数量の言及はないが、十分な広さのホスピタリティ関連機能のスペースを確保している。 フィールド転換システムを有しており、スポーツ以外のイベントの開催に適している。また、天井もイベントに活用可能である。 南側に集中した商業機能等の配置に加え、周辺施設との相乗効果でぎわい創出が期待される。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	○ ○ ○ △ ○ ○	環境技術に対して十分提案されている。エネルギー多重化の提案がある。大空間の空調に配慮した計画くなっている。芝生の育成について提案がある。 太陽光発電、太陽熱給湯、風力発電、井水利用、雨水再利用)、光触媒(壁・屋根)による大気のNOx浄化、居住域空調、CGS、自然採光 電気・ガス併用熱源、電力の2重引み、太陽光発電・風力発電・自家発電による創エネ 「Forest Skin」により運用時のCO2排出を最大限削減、という記載あり 居住域空調 環境の杜、壁面緑化 天然芝をイベント床へ転換するフィールド転換システム。膜構造による光、通風の確保。人工照明。

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方		
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	△	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	△	アーチユニット同士のつなぎ部の力のやり取りに課題があり、外周方向の効果を活用できていないため、架構システムの強化など十分な検討が必要である。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	×	スライド機構に対する記述がない。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	×	日射面積は確保されていない。
	不明	開閉屋根機構の詳細がないため判断できない。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方		
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	△	
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。	○	長辺スライド。140×110。梢円。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		要しない。 なっていない。 オーソドックスな開閉機構。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)		
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	△	構造の機構、外装の素材によっては、コスト超過の課題がある。
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	○	
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	○	スライド機構に検討の余地あり。
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	外装の素材の選定によっては、コスト超過の課題がある。
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	△	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)		
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	○	屋根材料の大臣認定取得に時間をする可能性がある。全体的には実現可能と思われる。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	○	実現性はある。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	○	検討されている
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	△	地下工事の縮減、プレキャスト化、内外装材の工場ユニット化、など。
5)品質に支障をきたす要素がないか。	○	屋根材料(ETFT)の大臣認定取得が必要となる可能性が高い。 提案の内容には、特には見当たらない。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) []	△ × ○ ○	可動屋根が開放時に都営住宅敷地まで移動
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成 []	○ ○ ○	要項の規定に適合している。 要項に抵触するような提案はない。
・規定の範囲内の土地利用がされているか。 ・関連敷地に新たに建築建築物(人工地盤等の工作物を除く)を建築していないか。		
施設構成 []	○ ○ △ ○	ゾーニングが不明瞭。
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		
スタジアムへのアクセス []	○ ○ ○ ○	要項と同じ動線の図示 一般車駐車場出入口、VIPで入口を外苑西通り側に設置、南側の区道43-690にも駐車場出入口を設置
・駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 ・車両のメインアクセスは都道418号(外苑西通り)側に設置されているか。 ・サブトラック、投げ練習場からの移動を考慮した競技者動線が提案されているか。		
公園面積、公開空地の割合 []	○ ○ ○ ○ ○	範囲・面積の記載があり、確保可能範囲内に計画されている。 渋谷区分は、地上と人工地盤の2層とされており、公園と見なせない部分を含む可能性がある。新宿区分は、関連敷地を中心だが2層の部分を含んでいる。
・既設公園と同規模以上の面積を各区の範囲内に確保しているか。 (渋谷区:約22,000㎡、新宿区:約12,000㎡) ・「公園の再配置が可能な範囲」内に公園が配置されているか。 ・敷地面積の40%以上の公開空地が確保されているか。 ・「公開空地の確保が可能な範囲」内に公開空地が配置されているか。		
歩行者動線によって快適で良好な位置に設置されているか []		
緑化・環境配慮・防災対策 []	○ ○ ○	地域防災対策が必要 エネルギーの多重化
・緑化・環境に対して、特別な提案がなされているか。 ・防災対策に対して、特別な提案がなされているか。		
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 []	△ △ ○ ○	階段の表記なし。スタンド内通路も不足しているが、対応可能と思われる。 階段の表記なし。スタンド内通路も不足しているが、対応可能と思われる。
・災害発生時等緊急時に応じた避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	全体スライド方式。 可動席方式:全体スライド方式
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△ ○	側面が開放なので壁、ガラスによる閉塞が必要。 VIPラウンジ等各種のホスピタリティ機能を備えているが、広さに欠けるきらいがある。ピッチを分割し水平移動が可能であり、スポーツ以外のイベント開催に適している。南北に商業機能等が分割配置されているものの、南側に大半の機能が備えられており、各種賑わい創出機能の提案も幅広い。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び緑化等) 省エネルギー技術等に関すること	○	環境技術に対して十分提案されている。エネルギー多重化の提案がある。大空間の空調に配慮した計画となっている。 芝生の育成について提案がある。 <芝生>太陽光追尾反射システム、養生用LED照明、通風の確保
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	○ ○	屋根部材や屋根支持部材の部材断面の増強などの十分な検討が必要である。 折りたたみ方式。耐風性の検討を要する。 可動屋根方式:折りたたみ方式 仕上材:膜・中空ポリカーボネート
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 施工性や工期に関すること	○ ○	全体的には実現可能と思われる。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○	
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	○	
緑化・環境配慮・防災対策	○	
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	○ ○ ○ ○ ○	全体スライド方式。 なっていない。 なっていない。 フィールドの昇降有。ピッチ格納。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [REDACTED] (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面)あれば部位を記す) ①-1と同様のチェックを行う。	[REDACTED]	
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED]	○ ○ ○ ○	都道414号上に千駄ヶ谷駅とつながる新設デッキを提案。 サブトラック連絡通路(車両通行可)を設置
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED]	○ ○	東京体育館とつなぐデッキ空間の幅について要調整

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	△	側面が開放なので壁、ガラスによる閉塞が必要。
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	○	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	VIPラウンジ等各種のホスピタリティ機能を備えているが、広さに欠けるきらいがある。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	○	ピッチを分割し水平移動が可能であり、スポーツ以外のイベント開催に適している。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的展開イメージについて記載があるか	○	南北に商業機能等が分割配置されているものの、南側に大半の機能が備えられており、各種賑わい創出機能の提案も幅広い。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	○	環境技術に対して十分提案されている。エネルギー多重化の提案がある。大空間の空調に配慮した計画となっている。芝生の育成について提案がある。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的記述が実現性をもってなされているか。	○	太陽光発電(4MW・蓄電池2MWH)、地中熱利用、雨水再利用、クールビット、居住域空調、床冷輻射、ドライミスト、ポーラス壁面による気化熱利用、自然換気、ダブルスキン、居住域空調、自然採光
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	○	太陽光発電(4MW) + 蓄電池(2MWH)、非常用発電機(2MW)による電源確保
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	記載なし
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	○	居住域空調
5)有効な緑化計画がされているか。	○	グリーンループ内の緑化
	○	太陽光追尾反射システム、養生用LED照明、通風の確保

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方		
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	○	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	○	バックステイ付き片持ち梁で、架構システムとしてシンプルであるが、先端たわみを考えると、屋根部材や屋根支持部材の部材断面の増強などの十分な検討が必要である。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	○	開閉システムはシンプルであり可能性はある。開閉屋根の梁サイズに再考の必要がある。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	×	閉時には開口が小さくなる可能性がある。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方		
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	○	
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。	○	折りたたみ方式。膜テフロン。中空ポリカーボネート。遮光/遮音性。 要さない。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		なっていない。 耐風性の検討を要する。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)		
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	○	
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	○	
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	○	
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	外装の素材選定によっては、コスト超過の課題がある。
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	○	メンテナンス費用が掛かる懸念があり、課題がある。
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)		
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	○	全体的には実現可能と思われる。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	○	実現性はある。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	△	駐車場が計画されており、工事時期を検討しておく必要がある。
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	○	山留め等架設の単純化、縦堀り化、Pca化、など
5)品質に支障をきたす要素がないか。	△	外装のUMUフィルムの検討が必要である。
	△	外装のUMUフィルムの検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) ■■■	○ ○ ○ ○	
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成 ■■■	○ ○ ○	要項の規定に適合している。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成 ■■■	○ ○ ○ ○	
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		
スタジアムへのアクセス ■■■	○ ○ ○ ○	414上に千駄ヶ谷駅とつながる新設デッキを提案。 地下道で結ぶ
公園面積、公開空地の割合 ■■■	○ ○ ○ ○ ○	範囲・面積の記載があり、確保可能範囲内に計画されている。 渋谷区分は、同じ範囲の2層で計画されているため、下層部分を公園と見なせない可能性がある。新宿区分は関連敷地を中心とした確保である。 範囲・面積・空地率の記載がある。 人工地盤面で確保する計画であり、確保可能範囲内である。
歩行者等にとって快適で良好な空間が確保されているか。		
緑化・環境配慮・防災対策 ■■■	○ ○ ○	自家発電
・緑化・環境に対して、特別な提案がなされているか。 ・防災対策に対して、特別な提案がなされているか。		
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 ■■■	○ ○ ○	問題なし
・災害発生時等緊急時に対応した避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	全体スライド方式。+仮設(フィールド大降時) 可動席方式:全体スライド方式+仮設
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△ ○	側面が開放なので壁、ガラスによる閉塞が必要 VIP専用スペースが他と比べて小さい。しかし、芝生を収容する昇降式システムを有しており、スポーツ以外のイベント開催に適している。また、南側中心の商業機能等の賑わい創出機能の配置であり、期待できる。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ ○	架構曲面、スタンドと屋根架構の接合部の詳細な検討により改良が必要である。 短辺スライド方式。2分割。オーソドックス。 可動屋根方式:短辺スライド方式 仕上材:保水セラミックス
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 施工性や工期に関すること	○ △	複雑な外観であり、外装の素材選定によつては、コスト増の懸念がある。 工事期間の提案はあるが、形態も複雑であり、詳細工程の検討が必要である。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○	
土地利用構成	○	
施設構成	△	面積不足の可能性あり、要確認
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	○	
緑化・環境配慮・防災対策	○	
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	△	upper stand 上部からの避難距離が長すぎる。出口、通路等の追加が必要となる可能性大。

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) []	○ ○ ○ ○ ○	全体スライド方式。仮設(フィールド大降時) なっていない。 なっていない。
1)可動席は物理的、機械的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用してない時の雰囲気に支障はないか。 4)トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [] (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。	[]	
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 []	○ ○ ○ ○	
1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。		多様なイベントに応じた"もぎり"のモード変換が可能な空間利用。サブトラック接続動線
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 []	○ ○	
1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	△	側面が開放なので壁、ガラスによる閉塞が必要
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	○	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	VIP専用スペースが他と比べて小さい。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	○	芝生を収容する昇降式システムを有しており、スポーツ以外のイベント開催に適している。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的展開イメージについて記載があるか	○	南側中心の商業機能等の賑わい創出機能の配置であり、期待できる。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	自然換気、地下水輻射冷房、地下鉄湧水利用、雨水再利用、CGS、太陽光発電、下水道排熱利用、地域冷暖房、地中熱利用、直換換気、LED照明
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	既存インフラを広域ネットワーク化し、都市インフラのバックアップ化を図る、という記載のみ(現実性に欠ける)
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	記載なし
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	○	居住域空調(床輻射)
5)有効な緑化計画がされているか。	○	緑のネットワーク
	△	芝移動システムについての記載はあるが、育成についてはなし

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方 ■■■■■	△	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。 2)閉閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。 3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした閉閉機構を有する屋根架構となっているか。 4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	△ △ × ○	架構曲面、スタンドと屋根架構の接合部の詳細な検討により改良が必要である。 閉閉屋根のスライド及び断面剛性に再考の必要がある。 開口面積が狭い。
⑤-2.屋根の架構及び閉閉機構に関する考え方 ■■■■■	○ ○ ○ ○	短辺スライド。2枚分割。 要さない。 なっている。 外観はユニーク。機構はオーソドックス。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費) ■■■■■	○ ○ ○ ○ ○	外装の素材選定によっては、コスト超過の課題がある。 外装が複雑な構成のため検討の必要がある。
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期) ■■■■■	△ △ ○ △ ○ △	工事期間の提案はあるが、形態も複雑であり、詳細工程の検討が必要である。 工事期間の提案はあるが、形態も複雑であり、詳細工程の検討が必要である。 問題は見当たらない。 提案なし 特に見当たらない。 セラミックタイルの固定方法など、個々の材料の收まりについては検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II.デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) ・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。	○ ○ ○ ○	
土地利用構成 ・規定の範囲内の土地利用がされているか。 ・関連敷地に新たに建築建築物(人工地盤等の工作物を除く)を建築していないか。	○ ○ ○	要項の規定に適合している。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成 ・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。	△ △ ○ ○	面積不足の可能性あり。要調整。 面積不足の可能性あり。要調整。
スタジアムへのアクセス ・駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 ・車両のメインアクセスは都道418号(外苑西通り)側に設置されているか。 ・サブトラック、投げ練習場からの移動を考慮した競技者動線が提案されているか。	○ ○ ○ ○	要項と同じ動線の図示 選手用連絡地下通路を設置
公園面積、公開空地の割合 ・既設公園と同規模以上の面積を各区の範囲内に確保しているか。 (渋谷区:約22,000m ² 、新宿区:約12,000m ²) ・「公園の再配置が可能な範囲」内に公園が配置されているか。 ・敷地面積の40%以上の公開空地が確保されているか。 ・「公開空地の確保が可能な範囲」内に公開空地が配置されているか。 ・歩行者専用に適した快適な良好な立地に設けられているか。	○ ○ ○ ○ ○	範囲・面積が明示されており、両区とも確保可能範囲に確保されている。 渋谷区分は、都道418号上空デッキを中心とし、新宿区分は、関連敷地を中心とする計画である。 範囲・面積・空地率の記載がある。 人工地盤面で確保する計画であり、確保可能範囲内である。
緑化・環境配慮・防災対策 ・緑化・環境に対して、特別な提案がなされているか。 ・防災対策に対して、特別な提案がなされているか。	○ ○ ○	排熱、湧水の未利用エネルギーを蓄熱・貯水し、災害時の負荷増に備える
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 ・災害発生時等緊急時に応じた避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。	△ △ ○	upper stand 上部からの避難距離が長すぎる。出口、通路等の追加が必要となる可能性大。 upper stand 上部からの避難距離が長すぎる。出口、通路等の追加が必要となる可能性大。

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	△	無。屋根開口部側面スクリーンで臨場感を演出していると思われる。可動席方式:無
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	△	車両アクセス位置、広場的空間について要調整
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	○ △	58のVIPボックスに加え3000席のビジネスクラブを有しており、その他ホスピタリティ関連機能も十分である。ただし、南北に賑わい機能が分割されており、効果が薄い。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び緑化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ △	ケーブルの長いサスペンション構造の高度な技術が必要である。同心円でないため、外周部の放射方向力に対する抵抗として、部材の増強の検討が必要である。 巻取り方式。詳細不明で判断困難。オーソドックスではあるので 問題はないとは思う。 <small>可動屋根方式:巻き取り方式 仕上材:膜</small>
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	○ △	外装の素材選定によってはコスト超過の懸念があり、屋上躯体上に緑化が計画されているため、実現性と維持管理に課題がある。可動屋根材についてはしわができることが予想され、補修、メンテナンス費用の負担が懸念される。 可動屋根の膜の開閉機構の検討が必要である。詳細工程の検討が必要である。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○	
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	△	車両アクセス位置、広場的空間について要調整
公園面積、公開空地の割合	○	屋上公園の安全性確保が必要
緑化・環境配慮・防災対策	○	地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) ■■■	△	無
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用してない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		屋根開口部側面スクリーン等でダイナミックなイメージ
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) ■■■ (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 ■■■ 1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	△ ○ ×	車両アクセス位置について要調整 西通りは車寄せだけで、他は43-690や43-670に依存。アクセス位置について要調整。 記載なし
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 ■■■ 1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。	○ ○	広場的な空間設置について要調整 建物外周と線的な歩行者空間上に設定。広場的な空間の設置について要調整

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) [REDACTED]	○ △ △ △ △ △	記載なし 記載なし 記載なし 記載なし 記載なし
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) [REDACTED]	△ ○ △ △	58のVIPボックスに加え3000席のビジネスクラブを有しており、その他ホスピタリティ関連機能も十分である。 コンサートに関する記載はあるが、乏しい。 南北に賑わい機能が分割されており、効果が薄い。
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	△	
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか	△	
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) [REDACTED]	△ ○ △ △ ○ ○ △	環境配慮に対する提案が乏しい。 置換換気、太陽光発電、地中熱利用、雨水再利用、床冷暖房、自然換気 記載なし 記載なし 居住域空調(床輻射+置換換気) 緑化あり 記載なし
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	○	
5)有効な緑化計画がされているか。	○ △	

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方 [REDACTED]	△	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	△	300m近いテンション材で構造システムを成立させるには、応力、変位に問題が残る(クリープ、温度)がケーブルの長いサスペンション構造の高度な技術で実現できる。同心円でないため、外周部の放射方向力に対する抵抗として、部材の増強の検討が必要である。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	△	屋根開閉システムの詳細がない。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	×	開口面積が狭い。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	×	しわになってしまい、膜の補修・取替えコストがかかる。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方 [REDACTED]	△	
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	△	巻取り式。詳細不明。オーソドックスなので問題はないと思う。
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。		要さない。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		なっていない。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費) [REDACTED]	○	外装の素材選定によってはコスト超過の懸念があり、屋上躯体上に緑化が計画されているため、実現性と維持管理に課題がある。可動屋根材についてはしわができることが予想され、補修、メンテナンス費用の負担が懸念される。
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	○	システムの実現性に検討の余地がある
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	△	詳細不明
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	△	掘削深さが-13.5m程度あるため、コストへの影響の懸念される。外装の素材選定によっては、コスト超過の課題がある。
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	屋上躯体上に緑化が計画されているため、実現性の維持管理に課題がある。
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	○	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期) [REDACTED]	△	可動屋根の膜の開閉機構の検討が必要である。詳細工程の検討が必要である。
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	△	工事期間の提案はあるが、地下工事もあるため、詳細工程の検討が必要である。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	○	問題は見当たらない。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	△	提案なし
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	△	PVC-PES膜?の検討が必要である。
5)品質に支障をきたす要素がないか。	△	可動屋根の開閉機構の検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) []	○ ○ ○ ○	
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成 []	○ ○ ○	要項の規定に適合している。 要項に抵触するような提案はない。
・規定の範囲内の土地利用がされているか。 ・関連敷地に新たに建築建築物(人工地盤等の工作物を除く)を建築していないか。		
施設構成 []	○ ○ ○ ○	
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		
スタジアムへのアクセス []	△ ○ × ○	要項と同じ動線をアレンジして図示(新宿御苑～千駄ヶ谷駅とペデデッキで結ぶ) VIP車寄せのみ外苑西通り側に設置。他は区道43-690及び43-670からアクセス。 外苑側に地下通路を設置
公園面積、公開空地の割合 []	△ × △ × △	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要。 範囲・面積の記載があり、確保可能範囲内に確保されている。 洪谷区分は、屋根の形状、都道418号上空デッキのサイズ等より、確保できない可能性がある。新宿区分は、関連敷地を中心に確保できる可能性がある。 範囲・面積・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周りも含めて確保すると考えると40%を確保できる可能性がある。
サテライト等にとって快適で良好な位置に設けられているか []		
緑化・環境配慮・防災対策 []	○ ○ △	地域防災対策が必要 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 []	○ ○ ○ ○	3階客席の出口がやや少ない 3階客席の出口がやや少ない
・災害発生時等緊急時に応じた避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	ロールバック方式+全体スライド 可動席方式:ロールバック方式+全体スライド
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	代々木門を歩行者のメインゲートすることの具体的な対策内容について要調整
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	○ ○	十分な数のVIPボックスほかホスピタリティ関連施設を有している。また、芝生を2分割して格納可能であり、スポーツ以外のイベント開催に適している。スタジアムの南側に、ミュージアム、ショッピング、カフェ、レストラン等を集約しており、賑わい創出が期待される。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ ○	屋根架構根元にバックステイ材のような補強材の追加の検討が必要である。 短辺スライド。2分割。上面ソーラーパネル。オーソドックス。 スライド屋根の鉛直剛性に対する十分な検討が必要である。 可動屋根方式:短辺スライド方式 仕上材:不明
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	△ ○	外装の素材選定によっては、コスト超過の課題がある。 全体的には実現可能と思われる。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	施設建築範囲を超えて提案(都営住宅のデッキ下)
土地利用構成	△	都営住宅デッキ下に店舗等を配置(建築は不可)
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	○	
緑化・環境配慮・防災対策	○	地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	○	
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。	○	ロールバック方式+全体スライド
2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど)	○	
3)可動席を利用してない時の雰囲気に支障はないか。	○	
4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。		なっていない。
5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		なっていない。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [REDACTED]	[REDACTED]	
(例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す		
・①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED]	○	代々木門を歩行者のメインゲートすることの具体的な対策内容について要調整
1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。	○	駅アクセスは要項通りであるが、代々木門をメインゲートに(4万)、千駄谷門(2万)、青山門(2万)と現状比を変化させる配分量を設定
2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。	○	都営アパート跡地デッキ下に駐車場利用
3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	○	サブトラックアクセスルート
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED]	○	
1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。	○	

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	○	
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	○	
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	○	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	○	十分な数のVIPボックスほかホスピタリティ関連施設を有している。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	○	芝生を2分割して格納可能であり、スポーツ以外のイベント開催に適している。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか	○	スタジアムの南側に、ミュージアム、ショップ、カフェ、レストラン等を集約しており、賑わい創出が期待される。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	地中熱利用(蓄熱槽20,000m ³)、雨水再利用、ピークカット発電機、CGS、ライトシェルフ、太陽光発電、太陽熱温水パネル、ドライミスト、自然換気、雨水のカスケード利用、自然採光
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	記載なし
3)ランニングコスト(LCC・LCCO ₂ 含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	記載なし
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	記載なし
5)有効な緑化計画がされているか。	○	ランドスケープ、渋谷川の再生(親水性のある川辺)
	△	記載なし

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方	△	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。 2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。 3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保した開閉機構を有する屋根架構となっているか。 4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	△ △ △ ×	全体屋根架構システムとしては再考の必要あり。屋根架構根元にバックステイ材のような補強材の追加の検討が必要である。 開閉部のロングスパン部は長すぎるため、レール部は、それに見合う構造となっていない。 日射面積が確保されていない。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方	○ ○	短辺スライド。2分割。外部ソーラーパネル。 要さない。 なっていない。 オーソドックス。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)	△ ○ ○ △ ○ △	外装の素材選定によっては、コスト超過の課題がある。 外装の素材選定によっては、コスト超過の課題がある。
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)	○ ○ ○ △ ○ ○	全体的には実現可能と思われる。 実現性はある。 問題は見当たらない。 提案なし 特に見当たらない。 提案の内容には、特に見当たらない。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ)■■■	△ △ ○ ○	施設建築範囲を超えて提案(都営住宅のデッキ下を利用)
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成■■■	x ○ x	都営住宅デッキ下に店舗等を配置 要項の規定に適合している。 都営住宅跡地のデッキ下に店舗等を配置している。
施設構成■■■	○ ○ ○ ○	
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		
スタジアムへのアクセス■■■	○ ○ ○ ○	駅からの歩行者アクセス量設定値について要調整 駅アクセスは要項通りであるが、代々木門をメインゲートに(4万)、千駄谷門(2万)、青山門(2万)と配分量を設定 VIP出入口、その他車両用出入口2ヶ所を外苑西通り側に設置 サブトラックアクセスルートを設置(1階レベル)
公園面積、公開空地の割合■■■	○ ○ ○ ○ ○	範囲・面積が明示されており、両区とも確保可能範囲に確保されている。 渋谷区分は、都道418号上空デッキを中心とするが、一部、都道418号沿い地上部の細長い範囲は公園と見なせない可能性がある。新宿区分は、関連敷地のデッキを中心とする計画である。
・既設公園と同規模以上の面積を各区の範囲内に確保しているか。 (渋谷区:約22,000m ² 、新宿区:約12,000m ²) ・「公園の再配置が可能な範囲」内に公園が配置されているか。 ・敷地面積の40%以上の公開空地が確保されているか。 ・「公開空地の確保が可能な範囲」内に公開空地が配置されているか。 ・歩行者等による飲食店(良好な立地)の設置がなされているか。		範囲・面積・空地率の記載がある。 人工地盤面で大部分を確保する計画であり、確保可能範囲内である。
緑化・環境配慮・防災対策■■■	○ ○ △ 記載なし	地域防災対策が必要 記載なし
・緑化・環境に対して、特別な提案がなされているか。 ・防災対策に対して、特別な提案がなされているか。		
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等■■■	○ ○ ○ ○	客席内縦動線の表記なし、十分対応可能 客席内縦動線の表記なし、十分対応可能
・災害発生時等緊急時に対応した避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1.「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	全体スライド。テーブルリフトで昇降そしてスライド。 可動席方式:ロールバック方式+テーブルリフ
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△ △	記載なく詳細が不明。 VIP関連諸室が10室程度であり、収益性に乏しい。また、ミュージアム等の記載はあるが、規模感があわざ具体性に乏しい。ただし、芝生の移動が可能であり、スポーツ以外のイベント開催に適している。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	○	環境技術に対して十分提案されている。エネルギー多重化の提案がある。LCCについて提案がある。大空間の空調に配慮した計画となっている。芝生の育成について提案がある。 <芝生>芝フィールドを場外へ移動して養生
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	○ ○	部材の増強や木材利用には十分な検討の必要がある。 カメラシャッタースライド方式。8枚分割。 面外剛性を保つ工夫がありそう+免震採用。 可動屋根方式:スライド方式(カメラシャッタ方式)
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 施工性や工期に関すること	○ ○	全体的には実現可能と思われる。
2.「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○	
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	○	
緑化・環境配慮・防災対策	○	
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) []	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。</p> <p>2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど)</p> <p>3)可動席を利用していない時の雰囲気に支障はないか。</p> <p>4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。</p> <p>5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。</p>
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) []	[]	<p>(例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す</p> <p>・①-1と同様のチェックを行う。</p>
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 []	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。</p> <p>2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。</p> <p>3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。</p>
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 []	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。</p>

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	△	記載なく詳細が不明。
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	△	VIP関連諸室が10室程度であり、収益性に乏しい
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	芝生の移動が可能であり、スポーツ以外のイベント開催に適している。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	○	ミュージアム等の記載はあるが、規模感があわざ具体性に乏しい。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか	△	
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	○	環境技術に対して十分提案されている。エネルギー多重化の提案がある。LCCについて提案がある。大空間の空調に配慮した計画となっている。芝生の育成について提案がある。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	自然採光、自然換気、クールピット、太陽光発電(895kW)、雨水再利用、CGS、地中熱利用、居住域空調、LED照明
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	○	自立型CGSによる電力確保
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	○	年間消費エネルギー40%削減(2000年比)
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	○	居住域空調
5)有効な緑化計画がされているか。	○	緑の丘(多重緑庇) 芝フィールドを場外へ移動して養生

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方	△ ○ △ × ○	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。 架構システムとしては成立するが、木材利用には十分な検討の必要がある。部材の増強などの十分な検討の必要がある。 開閉機構としてはカメラのシャッターのような機構となっている。開閉時の剛性、開閉途中の剛性の変化に問題があり、再考の必要がある。 南側日射の配慮はされているが、不十分と思われる。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方	○ ○ ○ ○	カメラシャッター式(スライド)18枚/6分割と思われる。 要さない。 なっていない。 ◎面外剛性を保つような工夫有。免震。カメラシャッター式では一番理解しやすい。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)	○ △ △ ○ ○ ○	システムの実現性に検討の余地がある メンテナンス費用が掛かる懸念があり、課題がある。
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)	○ ○ ○ ○ ○ ○	全体的には実現可能と思われる。 実現性はある。 問題は見当たらない。 Pca化、など 特に見当たらない。 提案の内容には、特に見当たらない。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) []	○ ○ ○ ○	
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成 []	○ ○ ○	要項の規定に適合している。なお、区道43-690号の線形変更を参考提案している。 要項に抵触するような提案はない。
・規定の範囲内の土地利用がされているか。 ・関連敷地に新たに建築建築物(人工地盤等の工作物を除く)を建築していないか。		
施設構成 []	○ ○ ○	
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		
スタジアムへのアクセス []	○ ○ ○ △	要項と同じ動線を図示 南西側からの搬入動線を利用(計画提案書ではバックヤード動線と選手動線がつながっている)
・駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 ・車両のメインアクセスは都道418号(外苑西通り)側に設置されているか。 ・サブトラック、投げ練習場からの移動を考慮した競技者動線が提案されているか。		
公園面積、公開空地の割合 []	○ ○ ○ ○ ○	範囲・面積が明示されており、両区とも確保可能範囲に確保されている。 渋谷区分は、都道418号上空デッキを中心とするが、一部、都道418号沿い地上部の狭小な範囲は公園と見なせない可能性がある。新宿区分は、関連敷地を中心とする計画である。 範囲・面積・空地率の記載がある。 スタジアム周囲の地盤面(TP24m)で大部分を確保する計画であり、確保可能範囲内にある。ただし、標高の高い東側(TP32m)には法面で接続するような形である。
・歩行者等にとって良好な空間が確保されているか。		
緑化・環境配慮・防災対策 []	○ ○ ○	自立型コジェネ
・緑化・環境に対して、特別な提案がなされているか。 ・防災対策に対して、特別な提案がなされているか。		
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 []	○ ○ ○	問題なし
・災害発生時等緊急時に対応した避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	ロールバック方式。 可動席方式:ロールバック方式
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△ ○	記載なく詳細が不明。 VIPルームは50室程度とやや他の提案より少ないが、拡張可能なスペースを有している。 ピッチは吊り上げ可能であり、スポーツイベント開催の可能性を示している。 また、地下からの搬入等が可能であり、吊りものの対応が可能である等、提案が多彩である。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。 <芝生> 芝フィールドを屋上にリフトアップ
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	○ ○	植栽荷重を受けるには重量が重いため部材、梁せいの増強などの十分な検討が必要である。 折りたたみ方式(通常時)。ピッチをジャッキで屋根まで上げる事も可動屋根方式:折りたたみ方式 屋上材:膜
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	△ △	掘削深さが-15m程度あるため、工期、コストへの影響が懸念される。 綠化が計画されているため、実現性と維持管理の検討が必要。 掘り下げた提案はで、工期内での完成が厳しいと思われる。 また、ピッチの上下機構について、施工上の検討が必要である。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	壁面後退距離が一部不足
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	○	
緑化・環境配慮・防災対策	○	地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	○	
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。	○	ロールバック方式。
2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど)	○	
3)可動席を利用していない時の雰囲気に支障はないか。	○	
4)トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。		なっていない。
5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		なっていない。 詳細不明だが、スタジアムはオーソドックス。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [REDACTED]		
(例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す		
・①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED]	○	
1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。	○	
2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。	○	
3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	○	敷地南側にマラソン通路(バス)を設けて、競技場に入る
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED]	○	
1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。	○	駅からのアクセス量の多く見込まれる北側で、樹木で遮られないような広場状に拡張することについての調整が要る

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []	△	記載なく詳細が不明。
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	○	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	○	VIPルームは50室程度とやや他の提案より少ないが、拡張可能なスペースを有している。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	○	ピッヂは吊り上げ可能であり、スポーツイベント開催の可能性を示している。また、地価からの搬入等が可能であり、吊りものの対応が可能である等、提案が多彩である。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的展開イメージについて記載があるか	○	周辺に配置されているが、南側に主要施設が集約されており、賑わい創出が期待される。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	△	雨水再利用
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	記載なし
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	記載なし
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	記載なし
5)有効な緑化計画がされているか。	○	里山計画
	○	芝フィールドを屋上にリフトアップ

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方 ■■■		
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	○	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	○	架構システムとしては成立する。植栽荷重を受けるには重量が重いため部材、梁せいの増強などの十分な検討が必要である。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	○	ピッチのリフトアップがケーブルワイヤーによるため、実現性は高い。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	○	芝をリフトアップしているため、全面日射確保されている。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方 ■■■		
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	○	
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。	○	折りたたみ方式。通常時、イベントフロアを下から油圧ジャッキで上げ屋根と平面にする事も可能。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		要さない。 なっていない。 屋根にした場合の内部空間がどうなる不明。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費) ■■■		
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	△	掘削深さが-15m程度あるため、工期、コストへの影響の懸念される。緑化が計画されているため、実現性と維持管理に課題がある。
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	○	
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	△	詳細不明
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	△	掘削深さが-15m程度あるため、工期、コストへの影響の懸念される。外装が複雑な構成のため検討の必要がある。
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	○	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期) ■■■		
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	△	提案の掘り下げた計画であれば、工期内での完成が厳しいと思われる。また、ピッチの上下機構について、検討が必要である。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	△	地下工事(-15m程度)が深い事から、提案の掘り下げた計画であれば、工期内での完成が厳しいと思われる。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	△	掘削土の搬出用構台などの計画が必要である。
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	○	ペント工法、Pca化、など
5)品質に支障をきたす要素がないか。	○	特には見当たらない。
	△	昇降式ピッチのウォータープレッシャーシステムの検討が必要。また、芝の育成に支障をきたす可能性がある。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) ■	△ ○ ○ △	外苑西通り側で一部後退距離が不足
土地利用構成 ■	○ ○ ○	要項の規定に適合している。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成 ■	○ ○ △ ○	ゾーニングが不明瞭。
スタジアムへのアクセス ■	○ ○ ○ ○	要項と同じ動線の図示 都営住宅敷地側からスロープによるマラソンバスを提案
公園面積、公開空地の割合 ■	○ ○ ○ ○ ○	範囲・面積が明示されており、両区とも確保可能範囲に確保されている。 渋谷区分は、都道418号上空デッキを中心とし、新宿区分は、関連敷地を中心とする計画である。
歩行者等はどうで快速で良好な立場に設けられているか ■		範囲・面積・空地率の記載がある。 人工地盤面とスタジアム諸室の屋上庭園を連続させる計画であり、確保可能範囲内に確保されている。
緑化・環境配慮・防災対策 ■	○ ○ △	地域防災対策が必要 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 ■	○ ○ ○ ○	問題なし

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1.「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	△	不明、無いと思われる。 可動席方式:無
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	人溜まり空間について広場状の空間が少ないので調整が必要
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	○ △	専用エントランスあるが、ホスピタリティ関連スペースは狭い。スポーツ以外のイベントについては、芝生に配慮し、年間6~7回に制限、と収益性には厳しい提案。キャットウォークの提案はあり。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び緑化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	○ ○	部材断面の増強など、十分な検討が必要である。 可動屋根方式:短辺スライド方式 仕上材:不明
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	△ △	全体的に詳細な検討を要する。 全体的に具体的な検討が必要である。
2.「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○	
土地利用構成	△	都営住宅跡地をスタジアムアクセス用地として利用していない
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	競技者動線について調整が必要
公園面積、公開空地の割合	△	範囲・面積が記載されていない
緑化・環境配慮・防災対策	○	地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) ■■■	△	不明。無と考えるべきか。 内部は普通のスタジアム。
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用してない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) ■■■ (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 ■■■ 1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	○ ○ ○ △	要項に記載のアクセスを文章で記述(計画提案書) 記載なし
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 ■■■ 1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。	△ △	建物外周とペデ空間に広場状の空間が少ないので、調整が必要

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []		
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	○	
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	○	
	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []		
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	△	専用エントランスあるが、ホスピタリティ関連スペースは狭い。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか	△	芝生に配慮し、年間6~7回に制限、と収益性には厳しい提案。キャットウォークの提案はあり。
	△	具体的な提案に乏しい。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多量化及び緑化等) []		
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
2)エネルギーの多量化など非常時の設備的対応について提案されているか	○	太陽光発電(20,000m ²)、LED照明、ハイブリッド外灯(風力+太陽光)、クールチューブ、雨水再利用
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	非常用の浄水装置の提案あり
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	記載なし
5)有効な緑化計画がされているか。	△	床暖房
	△	緑化計画の記載のみ
	△	記載なし

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方	△ ○ △ × ○	1)評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。 架構システムとしては成立する。部材断面の増強など、十分な検討が必要である。 開閉屋根システムの詳細がない。 日射範囲が不明である。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方	○ ○	3分割短辺スライド。 要さない。 なっていない。 詳細は不明だが、通常の構造。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)	△ △ △ △ ○ △	詳細不明 全体的に詳細な検討を要する。 詳細不明 詳細不明 詳細不明 — —
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)	△ △ ○ △ △ △	全体的に具体的な検討が必要である。 工事期間の提案がなく、詳細工程の検討が必要である。 問題は見当たらない。 提案なし 詳細が不明 詳細が不明

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ)■■■	○ ○ ○ ○	
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成■■■	△ △ ○	都営住宅跡地をスタジアムアクセス地として利用していない 関連敷地(都営住宅)を公園としているが、スタジアムアクセスとして活用できるように提案されていない。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成■■■	○ ○ △ ○	
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		ゾーニングが不明瞭。
スタジアムへのアクセス■■■	○ ○ ○ ×	競技者動線について要調整 要項に記載のアクセスを文章で記述(計画提案書) 関係者車両出入口、バス出入口、一般車駐車場出入口を、各々外苑西通り側に設置 競技者動線は南・東側にはない
公園面積、公開空地の割合■■■	△ × △ △ ○	範囲・面積が記載されていない 範囲・面積が記載されていない。 渋谷区分は、スタジアムの配置、都道418号上空テックのサイズ等より確保できない可能性がある。新宿区分は、関連敷地を中心確保できる可能性がある。 範囲・面積の記載があるが、空地率の記載はない。必要面積は確保されている。 確保可能範囲内の地盤面と人工地盤で確保する計画である。
歩行者等による公共交通機関との接続性■■■		
緑化・環境配慮・防災対策■■■	○ ○ △	地域防災対策が必要 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等■■■	○ ○ ○	問題なし
・災害発生時等緊急時に応じた避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	△	無。天井中央モニターで臨場感を演出していると思われる。 可動席方式:無
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	△	具体的な車両アクセス位置や人溜まり空間が不明瞭であり、要調整。
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△ △	記載なし ホスピタリティ関連スペースは狭い。また、その他の収益事業等も具体的提案に乏しい。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ ○	ケーブルの長いサスペンション構造の高度な技術で実現できる。外周が橿円のため外周構造を剛強にするため、部材断面増強、部材数の増加が必要である。 卷取り方式。どこかにたたみ込むのかが不明。 膜の取付に問題があり十分な検討の必要がある。 可動屋根方式:卷き取り方式 仕上材:膜
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	○ △	可動屋根材についてはしわができることが予想され、補修、メンテナンス費用の負担が懸念される。 全体的に具体的な検討が必要である。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	壁面後退距離が一部不足
土地利用構成	△	都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することの検討が必要
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	△	具体的な車両アクセス位置や人溜まり空間が不明瞭であり、要調整。
公園面積、公開空地の割合	△	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要
緑化・環境配慮・防災対策	△	緑化空間が不明瞭。地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	△	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) []	△	無。
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用していない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		内部イメージは天井中央に設け大モニター等で○
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大街かりな機構の提案) [] (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [] 1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	△ △ △ △	駐車場へのアクセス位置が不明瞭 要項と同じ動線の図示。具体的な歩行者空間位置が不明瞭であり、調整が必要。 駐車場へのアクセス動線の配置が不明瞭であり、調整が必要。 記載なし
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [] 1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。	△	具体的な空間な場所が不明瞭

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境)	△	記載なし
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画)	△	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	ホスピタリティ関連スペースは狭い。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	△	コンサート等の記載のみであり、具体的な提案に乏しい。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか	△	具体的な提案に乏しい。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等)	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	CGS、ZEB化(記載のみ)、高効率照明、インバータ機器の採用、太陽光発電、自然採光、自然換気
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	記載なし
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	記載なし
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	記載なし
5)有効な緑化計画がされているか。	△	記載なし

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方	△	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	△	300m近いテンション材で構造システムを成立させるには、応力、変位に問題が残る(クリープ、温度)が、ケーブルの長いサスペンション構造の高度な技術で実現できる。外周が楕円のため外周構造を剛強にするため、部材断面増強、部材数の増加が必要である。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	△	膜の取付片に問題があり再考の必要がある。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	×	日射面積が確保されていない。
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	×	膜がしわになり、膜のメンテ費用が多くかかる。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方	○	
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	○	巻取り方式 → たたみ方式 楕円膜。 詳細は不明だが出来ると思われる。どこかにたたみ込んだものが残ると思われる。
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。		なっていない。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)	○	可動屋根材についてはしわができることが予想され、補修、メンテナンス費用の負担が懸念される。
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	△	詳細不明
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	△	詳細不明
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	○	
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	○	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)	△	全体的に具体的な検討が必要である。
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	△	工事期間の提案はあるが、地下工事もあるため、詳細工程の検討が必要である。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	○	問題は見当たらぬ。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	△	提案なし
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	△	詳細が不明
5)品質に支障をきたす要素がないか。	△	可動屋根の開閉機構の検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) ■■■	△ ○ ○ △	外苑西通り側で壁面後退なし 外苑西通り側で壁面後退なし
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成 ■■■	△ △ ○	都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することを検討する。 関連敷地(都営住宅)をアクセスとして活用する意図が窺える部分もあるが、配置図では都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することを検討する。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成 ■■■	○ ○ △ ○	ゾーニングが不明瞭。
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		
スタジアムへのアクセス ■■■	△ △ ○ ○	具体的な歩行者空間位置が不明瞭 要項と同じ動線の図示。具体的な歩行者空間位置が不明瞭であり、調整が必要。 自動車道線は外苑西通り側で集約して出入口を設置 建国記念文庫へのデッキ(?)を設置(歩行者)
公園面積、公開空地の割合 ■■■	△ × △ × △	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要。 範囲・面積が記載されていない。 渋谷区分は、スタジアムの配置・形状より、都道418号上空デッキを最大限活用しても確保できない可能性がある。新宿区分の確保のため、関連敷地を公園とすることを検討する必要がある。 範囲・面積・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周りも含めて確保すると考えると40%を確保できる可能性がある。
歩行者等に対する供給元日枠の立場と設けられたているか ■■■		
緑化・環境配慮・防災対策 ■■■	△ △ △ △	緑化空間が不明瞭、地域防災対策が必要 緑化空間が不明瞭 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 ■■■	△ ○ ○	階段の表記なし。対応は可能。 階段の表記なし。対応は可能。
・災害発生時等緊急時に応じた避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	△	無。 可動席方式:無
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	○	
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△ △	側面が閉塞でなく、遮音欠損のおそれ。周囲の隙間に遮音上の対策が必要。 80室程度はVIPルームがありそうだが、具体的な記載はない。その他も具体的な提案に乏しい。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	— △	判断不能 折りたたみ方式。十分な検討が必要。 可動屋根方式:折りたたみ方式 仕上材:不明
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	— —	判断不能 判断不能
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	部分的に規定の高さを超える可能性／壁面後退距離が一部不足
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	○	
公園面積、公開空地の割合	△	範囲・面積が記載されていない
緑化・環境配慮・防災対策	○	地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	×	出入り口からの導線、階段、通路に関する情報が欠落

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	△	無。
1)可動席は物理的、機械的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用してない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5) 可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [REDACTED] (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。	[REDACTED]	
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED] 1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	△ ○ △ △	建物内の動線配置が不明瞭 要項と同じ動線をアレンジして図示(北側の都道414号道路上空に歩行者デッキ張り出し) 車両動線及び駐車場へのアクセスが不明瞭である 記載なし
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED] 1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。	△ △	配置図で判読:人溜まり空間の範囲が不明瞭

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境)■■■	△	側面が閉塞でなく、遮音欠損のおそれ。周囲の隙間に遮音上の対策が必要。
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画)■■■	△	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	80室程度はVIPルームがありそうだが、具体的な記載はない。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	△	コンサート程度の記載である、具体的提案に乏しい。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的展開イメージについて記載があるか	△	具体的提案に乏しい。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等)■■■	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	△	地中熱利用、雨水再利用
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	記載なし
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	記載なし
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	記載なし
5)有効な緑化計画がされているか。	△	記載なし
	△	記載なし

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方 ■■■	判断不能 判断不能 判断不能 △ 不明	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。 架構システムの記載がなく判断できない。 屋根開閉システムの記載がなく判断できない。 日射面積は若干不十分である。 開閉屋根の詳細がないため判断できない。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方 ■■■	△ △	折りたたみ方式。十分な検討が必要。 要さない。 なっていない。 あまりにアバウトで判断不能
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費) ■■■	判断不能 判断不能 判断不能 判断不能 判断不能 判断不能	詳細不明 詳細不明 詳細不明 詳細不明 詳細不明 詳細不明
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期) ■■■	判断不能 判断不能 判断不能 判断不能 判断不能 判断不能	詳細が不明であり、判断が困難である。 工事期間の提案がなく、詳細工程の検討が必要である。 問題は見当たらぬ。 提案なし 詳細が不明 詳細が不明

技術調査の確認項目【確認項目表(2):「II.デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ)■■■	△ ○ △ △	スタジアム東側・西側で一部高さ制限を超える可能性 区道43-670側で一部後退距離が不足(第二球場付近)
土地利用構成■■■	○ ○ ○	要項の規定に適合している。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成■■■	○ ○ △ ○	ゾーニングが不明瞭。
スタジアムへのアクセス■■■	○ ○ ○ ○	要項と同じ動線をアレンジして図示(北側の都道414号道路上空に歩行者デッキ張り出し) 設置されているが、建物内の動線配置が不明瞭。 東側にプレイヤーズエントランスを設置
公園面積、公開空地の割合■■■	△ × △ × △	範囲・面積が記載されていない 範囲・面積が記載されていない。 渋谷区分は、スタジアムの配置・形状より、都道418号上空デッキを最大限活用しても確保できない可能性がある。新宿区分は、関連敷地を中心確保できる可能性がある。 範囲・面積・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周りも含めて確保すると考えても40%を確保できない可能性がある。
歩行者等による交通事故の危険性■■■		
緑化・環境配慮・防災対策■■■	○ ○ △	地域防災対策が必要 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等■■■	× × △ △	出入り口からの導線、階段、通路に関する情報が欠落 出入り口からの導線、階段、通路に関する情報が欠落 判断しにくい 判断しにくい

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1.「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	折りたたみ方式。 可動席方式:折りたたみ方式
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	△	要項と同じ図で説明で、アクセスに関する提案は見あたらない
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△ △	記載なく詳細が不明。 スカイボックス等の記載はあるが、具体性に欠けるものである。その他の提案も具体性に乏しい。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多量化及び緑化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ △	架構の詳細検討により、同じ架構は難しい。 クレーン昇降式でΦ120mの膜構造を支持。開閉機構としてはコスト高になると思われる。(ETFEは国内で認定が取れていない。 可動屋根方式:クレーン昇降方式 仕上材:ETFE)
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	○ △	可動屋根のリフティング機構の検討が必要である。屋根材料の大蔵認定取得に時間をする可能性がある。
2.「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	屋根開放時に規定の高さを超えてる
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	△	具体的な空間配置が不明瞭である
公園面積、公開空地の割合	△	範囲・面積が記載されていない
緑化・環境配慮・防災対策	△	提案内容が不明瞭である
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	△	階段の表記なし。付帯施設については避難計画が表現されていないが、対応可能と思われる。

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること)	○ ○ ○ ○	折りたたみ方式。 なっていない。 なっていない。 詳細不明だがスタジアムはオーソドックス。フィールドは昇降。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案)		
(例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方	△ ○ △ △	要項と同じ動線の図示 要項と同じ動線の図示、駐車場位置の記載はなし 記載なし
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方	△ △	不明瞭

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境)	△	記載なく詳細が不明。
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。	△	記載なし
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。	△	記載なし
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。	△	記載なし
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画)	△	スカイボックス等の記載はあるが、具体性に欠けるものである。
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	具体的提案に乏しい。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	△	具体的提案に乏しい。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的展開イメージについて記載があるか	△	
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等)	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	地中熱利用、雨水再利用、太陽光発電、熱融通の重要性について記載
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	記載なし
3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	monitoring system、という記載のみ
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	記載なし
5)有効な緑化計画がされているか。	△	記載なし

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方		
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。	△	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。	△	片持ち形式でありシステム的には成立するが、脚部、はりせいなど再考の必要があると思われる。
3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。	△	風の抵抗力の再考や持ち上げ制御用の伸縮ジャッキサポートの負担が大きく再考の必要がある
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	×	日射面積が確保されていない。
	×	オイルジャッキのメンテナンスに費用がかかる。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方		
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。	△	
2)過大な建設費用を要することとなっていないか。	○	クレーン昇降式で中120mの膜構造を支持。 要しない。
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。		なっていない。 ただ開けるのには費用がかりそう。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)		
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動屋根)	○	システムの実現性に詳細検討の余地がある
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(可動席)	△	詳細不明
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(外装・地下の範囲)	○	外装の素材選定によっては、コスト超過の課題がある。
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか。(環境配慮)	○	
5)全体的に想定価格に納まっていると言えそうか。	○	
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)		
1)工期を要する特殊な要素がないか。(地下・特殊構造など)	△	可動屋根のリフティング機構の検討が必要である。屋根材料の大蔵認定取得に時間を要する可能性がある。
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか。(ヤードの確保は難しい)	△	工事期間の提案がなく、詳細工程の検討が必要である。
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか。	○	問題は見当たらない。
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか。	△	提案なし
5)品質に支障をきたす要素がないか。	△	屋根材料(ETFT)の大蔵認定取得が必要となる可能性が高い。
	△	可動屋根のリフティング機構の検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) [■■■]	△ ○ × △	可動屋根開放時に高さ制限を超えてる 不明(提出図書に平面図がなく判断不可)
土地利用構成 [■■■]	○ ○ ○	要項の規定に適合している。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成 [■■■]	○ ○ △ △	ゾーニングが不明瞭。 陸上競技では短辺方向両側が狭い。
スタジアムへのアクセス [■■■]	△ △ × △	具体的な空間配置が不明瞭 北側の都道414号、南側の区道43-890からアクセスする計画(計画提案書より、図面上では判読不可能) 計画提案書では外苑側に動線を設定しているが図面上で判読不可能
公園面積、公開空地の割合 [■■■]	△ × △ × △	範囲・面積が記載されていない 範囲・面積が記載されていない。 渋谷区分は、スタジアムの配置・形状より、都道418号上空デッキを最大限活用しても確保できない可能性がある。新宿区分は、関連敷地を中心に確保できる可能性がある。 範囲・面積・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周りや屋上活用も含めて確保すると考えると40%を確保できる可能性がある。
歩行者等にとって快適な立場に設計されているか [■■■]		
緑化・環境配慮・防災対策 [■■■]	△ ○ △	提案内容が不明瞭 提案内容が不明瞭で判らない 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 [■■■]	△ △ ○ ○	階段の表記なし。付帯施設については避難計画が表現されていないが、対応可能と思われる。 階段の表記なし。付帯施設については避難計画が表現されていないが、対応可能と思われる。

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1.「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	△	無。判断不能。 可動席方式:無
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	△	情報が十分でなく、適切な確認ができない
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	○ △	周囲は閉塞なので遮音は可能。 全ての提案が具体性に欠ける。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多様化及び緑化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。 有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討を要する。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	— —	判断不能 判断不能。 可動屋根方式:小割方式 仕上材:PVハネル。軽量コンクリート
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	— —	判断不能 判断不能。
2.「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○	壁面後退距離が一部不足
土地利用構成	△	資料不十分
施設構成	△	観客席数が不足
スタジアムへのアクセス	△	歩行者はデッキを中心とすることが確認できるが、それ以上は判読不能
公園面積、公開空地の割合	△	範囲・面積が記載されていない
緑化・環境配慮・防災対策	△	模式的な表現であり、具体的な姿が見えない
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	×	提出資料からは判断できない。

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	△ 無。	
1)可動席は物理的、機械的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用していない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		判断不能。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [REDACTED] (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED] 1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	△ △ △ △	記載なし 記載なし 記載なし 記載なし
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED] 1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。	△ △	記載なし 記載なし

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) [REDACTED]	○ ○ △ △ △ △	周囲は閉塞なので遮音は可能。 記載なし 記載なし 記載なし
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。 2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。 3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。 4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。		
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) [REDACTED]	△ △ △ △	全ての提案が具体性に欠ける。 全ての提案が具体性に欠ける。 全ての提案が具体性に欠ける。
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。 2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。 3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか		
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) [REDACTED]	△ ○ △ △ △ △ △	環境配慮に対する提案が乏しい。有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討をする。 自然採光、太陽光発電、太陽熱給湯、蒸発パネル 記載なし 記載なし 有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討をする。 記載なし 記載なし
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。 2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか 3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか 4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか) 5)有効な緑化計画がされているか。		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方	判断不能 判断不能 判断不能 判断不能 判断不能	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。 架構システムの図がないため判断ができない。 開閉屋根の図がない。 日射面積は確保されていない。 開閉屋根の詳細図がないため判断できない。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方	判断不能 判断不能 判断不能 判断不能	小割方式。詳細不明で判断出来ない。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)	判断不能 判断不能 判断不能 判断不能 判断不能	詳細不明 詳細不明 詳細不明 詳細不明 詳細不明
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)	判断不能 判断不能 ○ 判断不能 判断不能 判断不能	詳細が不明であり、判断が困難である。 工事期間の提案がなく、詳細工程の検討が必要である。 問題は見当たらない。 提案なし 詳細が不明 詳細が不明

技術調査の確認項目【確認項目表(2):「II.デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ)■■■	○ ○ ○ △	最高高さの規定は満たしているが、詳細は不明 区道43-670側で一部後退距離が不足(第二球場付近)
土地利用構成■■■	△ △ △	資料不十分 資料が不十分であるため、要項の規定に反しているかどうかが確認できない。 資料が不十分であるため、要項に抵触するような提案の有無が確認できない。
施設構成■■■	△ × △ ○	観客席数が不足 観客席数が不足。 ゾーニングが不明瞭。
スタジアムへのアクセス■■■	△ ○ △ △	デッキ空間を中心とするアクセスであることは判るが、それ以上のことは不明瞭である 要項と同じ動線の考え方(パネル図面より読み取り) LEVEL-1に車路の表示(外苑通り側2カ所、区道43-670側2カ所)はあるが、それ以上の記述ない 記載なし
公園面積、公開空地の割合■■■	△ × △ × △	範囲・面積が記載されていない 範囲・面積が記載されていない。 渋谷区分は、スタジアムの配置・形状より、都道418号上空デッキを最大限活用すれば確保できる可能性がある。新宿区分は、関連敷地を中心に確保できる可能性がある。 範囲・面積・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周囲も含めて確保すると考えると40%を確保できる可能性がある。
歩行者等にとって快適に良好な立場で設計されているか■■■		
緑化・環境配慮・防災対策■■■	△ △ △	模式的な表現で、具体的な姿が判断しにくい 模式的な表現で、具体的な姿が判断しにくい 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等■■■	×	提出資料からは判断できない。
	×	
	×	
	×	

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1.「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	昇降式補助スタンド。 可動席方式・昇降式補助スタンド方
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	△	駅間を結ぶデッキの設置場所、駐車場への不明瞭な動線など調整が要る
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△ △	上部側面を閉塞すべき。 具体性に欠ける不十分な提案である。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び緑化等) 省エネルギー技術等に関すること	○	環境技術に対して十分提案されている。エネルギー多重化の提案がある。 LCCIについて提案がある。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ ○	実現させるにはケーブルポストの数が倍くらいは必要となる。 折りたたみ方式。半球状の屋根フレームに沿って。 膜の取付方に問題があり十分な検討の必要がある。 可動屋根方式・折りたたみ方式 仕上材:膜
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	○ ○	屋根の機構形式によっては、構造の実現性、コスト超過の課題がある。 掘削深さが-15m程度あるため、工期、コストへの影響の懸念される。 屋根開閉機構を検討する必要がある。全体的には実現可能と思われる。
2.「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○	
土地利用構成	○	
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	△	車両動線の位置が不明瞭であり、要調整
公園面積、公開空地の割合	△	範囲・面積が記載されていない
緑化・環境配慮・防災対策	○	地域防災対策が必要
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	△	階段・通路の表記なし。対応は可能と思われる。

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) []	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>昇降式補助スタンド。</p> <p>なっていない。</p> <p>なっていない。</p>
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用してない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) []		
(例:ピッヂの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 []	<input type="triangle"/> <input type="radio"/> <input type="triangle"/> <input type="triangle"/>	<p>駅間を結ぶデッキの設置場所、駐車場への不明瞭な動線など調整が要る</p> <p>千駄ヶ谷駅と信濃町駅を結ぶデッキを414号沿いに設置する提案だが、神宮絵画館敷地の活用について調整が必要</p> <p>駐車場への具体的な導入線形が不明瞭である</p> <p>記載なし</p>
1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。		
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 []	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	
1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境)■■■	△ △ ○ △ △	上部側面を閉塞すべき。 記載なし 記載なし 記載なし
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。 2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。 3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。 4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。		
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画)■■■	△ △ △ △	具体性に欠ける不十分な提案である。 具体性に欠ける不十分な提案である。 スタジアム南側に集中的に商業機能が配置されているが、完成度低い。
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。 2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。 3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか		
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) ■■■	○ ○ ○ ○ △ △ △ △	環境技術に対して十分提案されている。エネルギー多重化の提案がある。LCCについて提案がある。 太陽光発電(20,000kWとあるが2,000kWの誤りだと思われる)、LED照明、蓄熱、CGS、デシカント空調、地中熱利用 熱源は電気・ガス併用 光熱水使用量削減について記載あり(電力:60%、水道:40%) 記載なし 壁面緑化、という記載のみ 記載なし
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。 2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか 3)ランニングコスト(LCC・LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか 4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか) 5)有効な緑化計画がされているか。		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方	△ △ △ △ △ 不明	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。 類似例の吊構造もあり架構は成立する。実現させるにはケーブルポストの数が倍くらいは必要となる。 膜の取付に問題があり再考の必要がある。 日射面積は若干不十分である。 開閉屋根の詳細図がないため判断できない。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方	○ ○	折りたたみ方式。半球状の屋根フレーム。 要さない。 なっていない。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費)	○ △ △ △ ○ ○	屋根の機構形式によっては、コスト超過の課題がある。 掘削深さが-15m程度あるため、工期、コストへの影響の懸念される。 システムの実現性に詳細検討の余地がある 詳細不明 掘削深さが-15m程度あるため、工期、コストへの影響の懸念される。
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期)	○ △ ○ △ ○ △	屋根開閉機構を検討する必要がある。全体的には実現可能と思われる。 工事期間の提案はあるが、詳細工程の検討が必要である。 問題は見当たらない。 提案なし 特に見当たらない。 可動屋根の膜の開閉機構の検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ)■■■	○ ○ ○ ○	
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。 ・各位置における最高高さの制限は満たしているか。 ・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。		
土地利用構成■■■	○ ○ ○	要項の規定に適合している。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成■■■	○ ○ △ ○	ゾーニングが不明瞭。
・観客席が8万席以上確保されているか。 ・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。 ・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。		
スタジアムへのアクセス■■■	△ ○ △ △	車両動線が不明瞭であり、要調整。 要項と同じ動線をアレンジして図示しており、千駄ヶ谷駅と信濃町駅を結ぶデッキを414号沿いに設置する 外苑西通り側に車両出入口を設けているが、道路との出入り開口部が十分でないなど形状に無理がある。要調整。 競技者動線の記述なし(観客動線はあり)
公園面積、公開空地の割合■■■	△ × △ × △	範囲・面積が記載されていない 範囲・面積が記載されていない。 新宿区分は、スタジアムの配置、都道418号上空デッキのサイズ等より確保できない可能性がある。新宿区分は、関連敷地を公園と扱えば確保できる可能性がある。 範囲・面積・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周りも含めて多層に確保すると考えると40%を確保できる可能性がある。
緑化・環境配慮・防災対策■■■	○ ○ △	地域防災対策が必要 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等■■■	△ △ ○ ○	階段・通路の表記なし。対応は可能と思われる。 階段・通路の表記なし。対応は可能と思われる。
・災害発生時等緊急時に応じた避難計画となっているか。 ・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。 ・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。		

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1.「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	○	全体スライド方式。 可動席方式:全体スライド方式
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	△	アクセスに関する情報が不明瞭であり、要調整。
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△	賑わい創出機能として、展示会、ミュージアム、温泉等が配置されているが、具体性に欠ける。その他の提案も同様である。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ ○	部材の追加、支持架構の追加など架構システムの十分な検討が必要である。 可動屋根方式:スライド方式(カーラシャッタ方式) カメラシャッタースライド方式。Φ160mを10分割。 しっかりとしらべてそうだが、詳細構造は不明。 開閉屋根システムが複雑で問題があり十分な検討が必要である。
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	△ ○	全体的に詳細な検討を要する。 全体的には実現可能と思われる。
2.「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	△	部分的に規定の高さを超えている可能性
土地利用構成	△	都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することの検討が必要
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	△	アクセスに関する情報が不明瞭であり、要調整。
公園面積、公開空地の割合	△	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要
緑化・環境配慮・防災対策	△	情報が不明瞭であり、要調整。
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) []	○ ○ ○ ○	なっていない。 なっていない。
1)可動席は物理的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものが(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用していない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [] (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。	[]	
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [] 1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。	△ × △ △	アクセス空間の情報が不明瞭である。要調整。 地表アクセスで、デッキ接続なし。現在の道路空間利用のままであり、駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整。 車両動線に関する記述なし 記載なし
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [] 1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。	△ △	記載情報が不明瞭。要調整。 記載情報が不明瞭である。要調整。

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []		
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。		
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。		
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。		
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。		
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	△	
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか。	△	ホスピタリティ機能の記載があるが、詳細がない。
2)競技場施設のスポーツ以外の利活用について具体的なイメージや実施方法等の提案があるか。	△	コンサート等の提示のみであり、具体性に欠ける。
3)競技場周辺を含めた、イベント非開催時の商業・文化等の機能の提案、具体的な展開イメージについて記載があるか	△	展示会、ミュージアム、温泉等が配置されているが、具体性に欠ける。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	△	環境配慮に対する提案が乏しい。
1)最先端の環境技術を備える提案や具体的な記述が実現性をもってなされているか。	○	自然換気、自然採光、太陽光発電、太陽熱給湯(プレヒート)、雨水再利用
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか	△	記載なし
3)ランニングコスト(LCC+LCCO2含む)や維持管理方法等について配慮されているか	△	記載なし
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか。(実現性や効果は期待出来るか)	△	記載なし
5)有効な緑化計画がされているか。	△	記載なし
	△	記載なし

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方 []	△ △ △ × 不明	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。 架構計画の再考の必要がある。部材の追加、支持架構の追加など架構システムの十分な検討が必要である。 閉閉屋根システムが複雑で問題があり再考の必要がある。 面積が確保されていない。 閉閉屋根の詳細がないため判断ができない。
⑤-2.屋根の架構及び閉閉機構に関する考え方 []	○ ○ △	カメラシャッタースライド式Φ160m10分 詳細構造が不明 なっていない。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費) []	△ △ ○ △ △ △	詳細不明 全体的に詳細な検討を要する。 システムの実現性に詳細検討の余地がある 掘削深さが11.2mのため、コストへの影響の懸念される 詳細不明 詳細不明
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期) []	○ △ ○ △ ○ ○	全体的には実現可能と思われる。 工事期間の提案はあるが、詳細工程の検討が必要である。 問題は見当たらない。 提案なし 特に見当たらない。 提案の内容には、特に見当たらない。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) ■■■■■	△ ○ △ △	スタジアム東側・西側で高さ制限を超える可能性 配置がわかる図面なし
土地利用構成 ■■■■■	△ × ○	都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することを検討する。 都営住宅が存置されており、都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用する必要がある。 要項に抵触するような提案はない。
施設構成 ■■■■■	○ ○ △ ○	ゾーニングが不明瞭。
スタジアムへのアクセス ■■■■■	△ × △ △	アクセスに関する記述が不明瞭である。要調整。 地表アクセスで、デッキ接続なし。現在の道路空間利用のままであり、駅に向かう歩行者動線について混雑対策を要調整。 観客以外の水平動線に関する記述なし 観客以外の水平動線に関する記述なし
公園面積、公開空地の割合 ■■■■■	△ × △ × △	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要。 範囲・面積が記載されていない。 渋谷区分は、スタジアムの配置、都道418号上空デッキがないことより、確保できない可能性がある。新宿区分の確保のため、関連敷地を公園とすることを検討する必要がある。 範囲・面積・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周りも含めて確保すると考えると40%を確保できる可能性がある。
歩行者等にとって快適で良好な立場は取らされているか ■■■■■		
緑化・環境配慮・防災対策 ■■■■■	△ △ △	外部空間の計画が不明瞭 外部空間への記述がパース図などから判読するのみで不明瞭である。要調整。 記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 ■■■■■	○ ○ ○ ○	テーマ別計画提案資料に具体的な記述はないが、図面から対応が読み取れる。 テーマ別計画提案資料に具体的な記述はないが、図面から対応が読み取れる。

技術調査の確認リスト【総括表】

項目	確認結果(○・△・×)	所見
1. 「テーマ別の計画提案」に示した項目 確認の観点		
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方 可動客席等に関すること	△	無。イメージも普通。 可動席方式:無
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線に関する考え方 アクセス及び入退場動線に関すること	△	情報不十分
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方 音響環境に関すること ホスピタリティ機能等、事業計画に関すること	△	VIPラウンジ等ホスピタリティスペースの記載がある、広さも十分である。ただし、スタジアム南側に図書館等が集中的に配置されているが、賑わい創出の効果に乏しい。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多様化及び綠化等) 省エネルギー技術等に関すること	△	環境配慮に対する提案が乏しい。 有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討をする。
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方 構造計画に関すること 屋根の架構及び開閉機構に関すること	△ —	屋根の支持架構となるフレームの断面増強などの十分な検討が必要である。 不明。判断不能。 可動屋根:無 仕上材:—
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。) 事業費(建物本体・外構部分)に関すること 施工性や工期に関すること	△ △	全体的に詳細な検討を要する。 屋根開閉機構を検討する必要がある。
2. 「デザイン提案条件」に規定している事項等		
施設建築物の配置(配置及び高さ)	×	施設建築範囲を超えて提案(外苑西通り、区道43-670上空まで建築)／部分的に高さ制限を超えている
土地利用構成	△	都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することの検討が必要
施設構成	○	
スタジアムへのアクセス	△	情報不十分
公園面積、公開空地の割合	△	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要
緑化・環境配慮・防災対策	△	情報不十分
防災・避難計画及び法令等に抵触することが明らかな事項等	○	

技術調査の確認項目【確認項目表(1)：「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (可動客席等に関すること) [REDACTED]	△	無。
1)可動席は物理的に実現可能と想定できるものか。 2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど) 3)可動席を利用していない時の雰囲気に支障はないか。 4) トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。 5) 可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		普通のイメージ。
①-2.臨場感あふれる観覧席に関する考え方 (その他大掛かりな機構の提案) [REDACTED] (例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す ・①-1と同様のチェックを行う。		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方 [REDACTED]	△ △ △ △	パネル図で判読:地表アクセスで、デッキ接続なし。情報不十分 記載なし 記載なし
1)駅からスタジアムまでの歩行者アクセスについて提案がなされているか。 2)車動線および駐車場配置の提案がなされているか。 3)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について特別な提案がなされているか。		
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方 [REDACTED]	△ △	パネル図:スタジアムコンコースと外部との設けられているとみられるが、情報不十分。
1)スタジアムの外に人だまり空間が提案されているか。		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境) []		
1)イベント利用時の音響環境(建築音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。		
2)イベント利用時の音響環境(電機音響)について記述があるか。 ある場合、実現性のある内容となっているか。		
3)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか。		
4)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか。		
③-2.ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画) []	△ ○ △ △	VIPラウンジ等ホスピタリティスペースの記載がある、広さも十分である 具体的な記載に欠ける。 スタジアム南側に図書館等が集中的に配置されているが、賑わい創出の効果に乏しい。
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等) []	△ ○ △ △ △ △ △ △	環境配慮に対する提案が乏しい。有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討を要する。 自然採光、自然換気、雨水再利用、既存スタジアムの解体資材の使用 記載なし 記載なし 有効な空調を行うための閉じた空間が構成できるか検討を要する。 記載なし 記載なし

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画に関する考え方 [■■■]	×	1)を評価対象とし、2)3)4)は別分野での評価とし参考評価とした。
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか。 2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか。 3)芝の管理の負担を軽減するために南側の日射を確保をした開閉機構を有する屋根架構となっているか。 4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	△ × × 不明	屋根の支持架構となるフレームの断面増強などの十分な検討が必要である。 開閉屋根の詳細がない。 面積が確保されていない。 開閉屋根の詳細がないため判断ができない。
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方 [■■■]	判断不能	
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か。 2)過大な建設費用を要することとなっていないか。 3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか。	△ △ △	不明。 判断不能。
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方 (事業費) [■■■]	△ △ △ △ △ △	全体的に詳細な検討を要する。 詳細不明 詳細不明 詳細不明 詳細不明 詳細不明
⑥-2.施工性や工期に関する考え方 (工期) [■■■]	△ △ ○ △ △ △	屋根開閉機構を検討する必要がある。 工事期間の提案がなく、詳細工程の検討が必要である。 問題は見当たらない。 提案なし 詳細が不明 可動屋根の開閉機構の検討が必要である。

技術調査の確認項目【確認項目表(2)：「II. デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
施設建築物の配置(配置及び高さ) []	×	施設建築範囲を超えて提案(外苑西通り、区道43-670上空まではみ出して建築)
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか。	×	スタジアムの東側・西側で高さ制限を超えている
・各位置における最高高さの制限は満たしているか。	×	外苑西通り、区道43-670で一部後退距離が不足
・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか。	×	
土地利用構成 []	△	都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用することを検討する。
・規定の範囲内の土地利用がされているか。	×	都営住宅が存置されており、都営住宅敷地をアクセス・オープンスペースとして活用する必要がある。
・関連敷地に新たに建築建築物(人工地盤等の工作物を除く)を建築していないか。	○	要項に抵触するような提案はない。
施設構成 []	○ ○ △ ○	ゾーニングが不明瞭。
・観客席が8万席以上確保されているか。	○	
・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか。	○	
・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか。	△	動線の記述がない
スタジアムへのアクセス []	△ △ △ △	動線の記述なし(地表アクセス) 競技者バスルートの記述のみ 競技者動線の記述なし(図面上では南北方面に通路があるが詳細不明)
公園面積、公開空地の割合 []	△ × △ × △	公園・公開空地の確保について検討・調整が必要。 範囲・面積が記載されていない。 渋谷区分は、スタジアムの配置、都道418号上空デッキがないことより、確保が難しい。新宿区分の確保のため、関連敷地を公園とすることを検討する必要がある。 範囲・面積・空地率の記載がない。 公園範囲の設定後、建物周囲も含めて確保すると考えても40%を確保できない可能性がある。
歩行者等にとって快適で良好な位置と捉えられているか。		
緑化・環境配慮・防災対策 []	△ △ △	記載なし 記載なし 記載なし
・緑化・環境に対して、特別な提案がなされているか。	△	記載なし
・防災対策に対して、特別な提案がなされているか。	△	記載なし
防災・避難計画および法令等に抵触することが明らかな事項等 []	○ ○ ○ ○	テーマ別計画提案資料に具体的な記述はないが、図面から十分対応状況が読み取れる。 テーマ別計画提案資料に具体的な記述はないが、図面から十分対応状況が読み取れる。
・災害発生時等緊急時に応じた避難計画となっているか。	○	
・災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか。	○	
・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか。	○	